

第五十九回
帝國議會
貴族院

米穀法中改正法律案特別委員會議事速記録第四號

昭和六年三月十七日(火曜日)午前十時十九分開會

○委員長(伯爵堀田正恒君) 是ヨリ開會イタシマス

○男爵三須精一君 當局ニ御尋不致シマス

ガ、先般御配布ニナリマシタ米穀需給調節特別會計昭和五年度十二月末損失現計表ニ

於テ、損失ノ總額中ニ一番多ク三分ノ一モ費シテ居ルノハ殆ド借入金ノ利子ト考ヘラ

レマス、此度八千万圓ノ追加ヲ爲サレマシタニ付キマシテ、正味利拂ヲ差引イタ正味

ノ金額ハドノ位ニ當ツテ居リマセウカ、ソレガ一ツ、ソレトモウツハ斯ウ云フヤウナ根本的ノ立直シニ於テハドウシテモ此特別

會計ト云フモノヲ普通ノ會計ニ直シ、會計法ヲ改メルト云フヤウナ政府當局トシテハ御意思ガアリマセヌカ、是ガ第二段ニ於テ御尋シタイ點デアリマス、ソレト現在ニ於

テ此買上米ニ要スル所ノ金額ハドノ位政府ハ現在御持チニナツテ居リマセウカ、此三點ヲ伺ヒタインデアリマス

○政府委員(石黒忠篤君) 一寸前ノ二ツノ御開ヒヲ御伺ヒ洩シマシタノデ、今茲デ聽イテ居ルノデアリマスガ、……第三ノ御問ヒ

ノ只今米ヲ買上ガルトシテ餘力ヲドノ位持テ居ルカト云フノガ第三ノ御問ヒデゴザイマスネ、ソレハ只今餘力ハ二千九百万圓程ゴザイマス

○男爵三須精一君 損失ノ總額ノ大部分ハ殆ド金利ニ拂ハレテ居ルヤウナ風ニ見受ケラレマス、詰リ借入金ノ利子デスネ……

○國務大臣(町田忠治君) 三點ノ御尋ノ第三ノハ二億七千万圓ノ中今後運轉シ得ラル

ノ米穀調査會ニ致シタノデアリマス、其後

ラ借入金ノ利息等ノモノハ御廻シ致シマシ

ル餘力ガ二千九百万圓デアリマス、ソレカ

ラ借入金ノ利息等ノモノハ御廻シ致シマシ

タ……其點ハ後カラ農務局長カラ申シマス、

根本問題ノ大體ノコトニ付キマシテ私ヨリ

御答へ致シタイト思ヒマス、御尋ノ點ハ私

共トシテモ色ニ之ヲ整理スル案ヲ先年來考

ヘテ居リマシタノデアリマス、又米穀調査

會ニ於キマシテモ此特別會計ヲ根本的ニ整

理スルコトノ答申ガ出テ居ルノデアリマ

ス、主義カラ申シマスルト、此缺損金ヲ一

般會計ニ於テ整理セヨト云フコトノ答申ニ

對シテハ、主義ニ於テハ同意ラ表シマスル

ガ、目下ノ財政狀態カラ見マスルト、今年

ノ會計年度即チ三月ノ末日ニ於ケル損失ガ凡ソ一億五千万圓ト相成ル推算デアリマスルガ故ニ、此全部ヲ一般會計ニ移スト云フコトハ今日ノ財政狀態デハ不可能デアルガ、

出來ルダケ早イ機會ニ於テ之ヲ一般會計ニ移スト云フコトニ對シテハ政府トシテモ同意デアル、又努メテ左様ニ致スト云フ答申

ノ米穀調査會ニ致シタノデアリマス、其後

先般此法案ガ出マシテ衆議院ノ委員會ニ於

キマシテモ、屢々其點ニ付キマシテ質問應答

ガアリマシタ、大藏大臣モ見ヘテ答辯ヲシ

テ置キマシタノデアリマス、此損失ヲ一般

會計ニ早く移サナイ爲ニデス、米穀特別會

計ニ於テ、此度又八千万圓ノ増額スルコト

ノ御願ヒヲ致シタコトハ、一般會計デ此缺

損ヲ整理スルコトガ出來マスルト、此増額

ハイラヌノデアリマスルガ、財政上ノ關係

已ムヲ得ズ此増額ヲシタノデアリマス、併

シ當時大藏大臣モ答ヘテ居リマス、交付公

債ヲ發行シテ、此一億五千万圓ノ公債ヲヤッ

テ整理シタイト云フコトハ、大體ニ於テ左

様イタシタ考ヘデアリマスルガ、是ヲ交

ス、更ニ減債基金ニ繰リ入レルモノヲ假リニ二百萬圓ト致シマシテモ、今後財政計畫ノ上ニ經常歲出トシテ一千萬圓位イノ財源ヲ見出サヌケレバ、是ヲ交付公債ニ依テ整理スルコトハ到底出來マセヌ、故ニ本年出來ルダケ財政行政ノ整理ヲ努メマシテ、ソニ財源ヲ得マシタ上ニ於テ、交付公債ヲ移行シテ此缺損ヲ整理スルト云フヨリ途ガナイコトニ大藏大臣ト相談ヲ致シマシテ、先般衆議院デ御答ヘヲシテ置キマシタ、農林當局トシテハ、一日モ早く是ヲ整理シナ

發行シテ此缺損ヲ整理スルコト云フヨリ途ガナイコトニ大藏大臣ト相談ヲ致シマシテ、先般衆議院デ御答ヘヲシテ置キマシタ、農林當局トシテハ、一日モ早く是ヲ整理シナケレバ、是ガ爲ニ利息ガ殖ヘマシテ米穀法ニ依テ生ズル缺損ガ多イト世間カラ疑ハレテ居リマスル缺損ノ半バハ、此一般會計ニ移サナイガ爲ニ起ル特別會計ニ於ケル利

ボスコトニ相ナツテ居リマスカラ、私トシテハ、一兩年ノ中ニ交付公債ニ依テ整理スルコトノ希望ヲ持テ、專念大藏大臣ト交渉シテ居ル次第デアリマスカラ、其邊ハ何ウゾ御了承願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(石黒忠篤君) 第一ノ御尋ネノ付公債ニ移シマスルト、其利拂ノ爲ニ經常

歲出トシテ年々七八百万圓要ルノデアリマ

御協賛ヲ願ヒマシタ後、本年度末ニ於キマシテ、約八千万圓ノ損失ニナルト云フコトニ付テ、其八千万圓ノ損失見込ミト云フモ

ノノ中デ、利拂イガ何レ位イアルカト云フコトガ第一ノ御質問デゴザイマシタヤウニコトガ第一ノ御質問デゴザイマシタヤウニ存ジマス、左様チヤナイデスカ

○男爵三須精一君 イヤ違ウデス、此度提出ニナリマシタ八千万圓デゴザイマスナ、是ヲ通過イタシマスト、茲ノ……正味ガ何レ位イ使ウカ、是ガテ又利息ヲ拂ハナケレバナリマセヌナラバ、是ハ正味八千万圓使ウコトハ出來ナイダラウト思ヒマス、利息ヲ拂ハナケレバナラナイカラ、サウデヤナイデスカ、其運轉資金ハ何レ位イ正味ガアリマス

○政府委員(石黒忠篤君) 分リマシタ、買入レニ使ヒマスル正味ノ金ガ何レ位イアルカト云フ……

○男爵三須精一君 エ、左様デゴザイマス

○政府委員(石黒忠篤君) ソレハ只今買入レテ居リマスル所有米、ソレハ御手許ニオ配リイタシマシタヤウナ額ダケ持テ居リマス、是ヲイツ迄持テ居ルカト云フコトニ、ソレニ依リマシテ一番大キナ響ガゴザイマセウト思ヒマス、ソレデ又新ニ買入レ

ル時期ガ早ウゴザイマスレバ早イダケ買入レル量モ、買入レ得ル量モ餘計ナ譯デアリマスガ、先ニ行テ詰リマスコトガ早ク來ル、斯ウ云フ狀況デアリマスノデ、其點ハシウゴザイマセウカ、政府ノ所有米ノ保管

ヲ必要トスル狀況ト買入レヲ必要トスル狀況ト云フコトガ甚ダ豫定シニクイモノデアリマスカラ、ハキリト申上ル譯ニ參ラナイノデゴザイマズ

○男爵三須精一君 此借入金ノ利率ハドレ位デゴザイマスカ

○國務大臣(町田忠治君) 大體只今農務局長カラ御答ヘシタ通リデアリマスガ、初メノ御答ヘノ八千万圓ノ中實際米ヲ買入レル

ト云フヤウナ運用ノ資金ニ、其八千万圓ハ凡ソ幾ラ要ル見込カ、年々斯様ナ借入金ノ利息ガ殖エテ行クト、借入金ノ利息ノ方ニ

此金ガ使ハレテ、運轉資金ノ方ノ分量ガ少クナリハセヌカト云フ大體ノ御尋ねト拜承

イタシタノデアリマスガ、左様デアリマス、此點ハドウ致シマシテモ特別會計ノ缺損金ハ早ク一般會計ニ移サナケレバ、今ノ所デ

大體現狀ノ儘トシマシテ、今後米ヲ賣ル機会モナク、又賣リモ致サズニ現狀ノ儘デ参

リマシテモ、一ヶ年ノ間ニ千五六百万圓以云フ期待ヲ持テ居リマス

上ノ利拂ノ爲ニ此運轉資金ヲ使ハナケレバナラヌト云フコトニナリマスト、外ノ事情ヲ同一ト考ヘマスルト、此八千万圓ノ中六

千万圓少シ餘ル位ヨリモ米ヲ買入レルコトノ運轉資金ト相成ル分量ガナインデアリマス、御尋ネハ左様デアッタ思ヒマス、ソレカラ此度從來ハ預金部カラ低利資金ヲ借り居リマシテ、五分五厘ノ金デ使ヒテ居リマス、併シ御承知ノ通り此度ノ特別會計ノ一年以内ノ借入金ヲ致スコトニシテ居リマスモノハ、大藏省ノ方デハ預金部資金モ段々減リマシタ故ニ、之ヲ一般市場カラ借入レルコトガ出來ルト云フ今度ノ案ニ相成シテ居リマス、若シ之ヲ一般市場カラ借入レルト云フ場合デアリマスレバ、今年ノヤウナ金融狀態カラ見マスルト、預金部カラ借入レルヨリモモット安ク一般市場カラ借入レ得ラル、ト私共ハ確信イタシテ居リマスカラ、場合ニ依レバ預金部カラ借入レル、場合ニ依レバ日本銀行ノ話モ出来マセウシ、或ハ大藏證券ヲ一般市場デ六厘カ七厘デ大藏證券ヲ賣出シテ居ルト云フヤウナ方法ニモ考ヘマスルガ故ニ、今後此案ガ通リマスレバ利拂トシテ拂フ金高ハ今日ノ金融狀態カラ見マスレバ、餘程減ルコトガ出來ルト

ト云フ根本的問題、或ハ價格ヲ公表セヌト

○委員長(伯爵堀田正恒君) 御質問ハ濟ミマシタカ

○男爵三須精一君 濟ミマシタ

○男爵足立豐君 私ハ成ルベク質疑ノ重複ヲ避ケタイト存ジマシテ、只今迄差控ヘテ居タノデアリマスガ、本案審議上最モ關係ヲ有スル第五十六議會ニ於テ、七千万圓ノ増額ヲ致シマシタ際ニ、貴族院ト致シマシテハ希望決議ヲ附シテ居リマス、其精神ニ基キマシテ簡単ニ極ク率直ニ御伺ヒシテ見タイノデアリマスガ、其第一點ハ今日御提出ノ改正案ハ米穀需給調節ニ關スル根本方針ノ決定デアリマセウカ否ヤト云フコト、第二點ハ七千万圓増額ノ其運用上深甚ノ注意ヲ拂ハレルヤ否ヤト云フ此二點ヲ伺ヒタ

○國務大臣(町田忠治君) 御尋ネノ點ハ只今オ述ベノ通リ貴族院デハ根本的……根本方針ノ決定マデノ便法トシテ之ヲ認メルト云フ此貴族院ノ希望條件ガアリマシタ故ニ、此點ニ重ク考慮イタシマシテ、前内閣ニ於カレテモ、根本的調查ヲ致スト云フコトニシマシタ、調査會ニ於キマシテハ此根本改正ニ付キマシテ或ハ國家ガ專賣ヲスルト云フ根本的問題、或ハ價格ヲ公表セヌト

云フ根本問題等モアリマシタガ、色々審議ノ末實行不可能ト相成リマシテ、結局率勢米價並ニ生産費、生計費ノ基準ニ依ッテ米穀法發動ノ場合ヲ大體ニ於テ定メテ、當局者一個ノ考ニ依ッテ溢ニ之ヲ行フコトガ致セヌヤウニスルコトガ根本改正ト相成ッタノデアリマス、色々研究イタシマシタガ、之上ニ苟クモ米穀法ヲ存在スル必要アリトシテ、之以上ノ改正ハ遺憾ナガラ出來マスマイ、先づ大體此基準論デ參ルト云フコトヲ根本改正ト致シタノデアリマス、ソレカラモウ一ツノ御尋ネハ七千万圓ニ付キマシテハ、溢ニ之ヲ使ハヌコトニ對シテ努力イタシタノデアリマス、實ハ先年私ガ農林省ニ居リマシタ時モ、出來ルダケハ此米穀法ノ運用ヲ、出來ルダケ避ケル方針ヲ採シタ、苦慮シタ多少ノ經驗モ有ッテ居ルノデアリマス、此度ハ從來十數回米穀法ヲ發動シタ場合ニ於テ、何人ガ考ヘテ見マシテモ、昨年ノ大豐作ニ依ッテ生ジタ米價ノ暴落ニ對シテハ、貴族院ノ御趣意モ尊重シテ考ヘマガ現ハレマシタニ付キマシテ、已ムヲ得ズ此七千万圓ヲ運用イタシマシテ、先刻御答へ致シマシタ通リ二千九百万圓、約三千万圓カ餘力ガ残、テ居ルガ、四千万圓以上ハ使

ヒマシタ、眞ニ已ムヲ得ナカッタガ、併シ出来ルダケソレ少クスル爲ニ先日モ屢申ニ於ケル調節、外國ニ向テ米ヲ賣出ス、及ビ低利資金ニ依ッテ農家ニ二百三十万石ヲ玄米トシテ貯藏サセルト云フヤウニ、出來ルダケ御希望ニ添フ爲ニ、此資金ヲ最少限度ニ使ヒマシテ、普通從來ノヤリ方デハモ、ト買ハナケレバナラヌヤツヲ、出來ルダケ買フコトノ分量ヲ少クシテ一面御希望ニ添フヤウニ努メタ次第デアリマス

○男爵足立豐君 只今大臣ノ御答ヲ拜聴シマスト、本案改正ニ付キマシテハ、貴族院ノ決議ヲ尊重シタ、是以上ノ根本策ハ先づ考立テニナルト云フコトガ根本方針ニ副フト私ハ考ヘテ居ルノデアリマスルガ、當局ノ御考ヘハ如何デアリマセウカ、其點ヲ伺ヒタイ

○國務大臣(町田忠治君) 御尤モナ御尋ネデモナク、明治初年以來ノ歴史ニ微シマシテモ相當困難デアルト云フ事實ハ判明シテ居リマスガ、政府ニ於テ内地ナルト植民地ナルトヲ問ハズ、今少シ高處カラ米穀政策ヲ御立テニナルト云フコトガ根本方針ニ副フト私ハ考ヘテ居ルノデアリマスルガ、當局ノ御考ヘハ如何デアリマセウカ、其點ヲ伺ヒタイ

申上ゲタ通リデアリマス、併シ若シ昨年ノ如キ豐作ガ此處二三年續クト假定イタシマスルト、恐ラクハ此米穀法ヲ運用シタ效果ガ、今日私共ガ期待シテ居ル程ニ參ラヌ時代モ或ハ生ジヤセヌカト惧レテ居ル點モアリマス、左様ニ致シマスルト、内地米ノ低落ト申シマスカ、暴落ト申シマスカ、主ナル原因ハ朝鮮カラ這入ル米ガ主ナル原因トニ之ヲ朝鮮臺灣ヲ一括シタ米穀法ヲ考ヘルコトガ相當困難デアリマシテ、根本的ニ此相成リマスガ故ニ、更ニ朝鮮臺灣ニ對スル一つノ特別ナル米穀法ヲ作ルコトノ必要ニ迫ラルルノデハアルマイカ、斯ウ考ヘテ、昨日朝鮮政府委員モ此低利資金ニ依ル施設デ足ラヌ時ハ他ノ考慮ヲシナケレバナラヌ云フ御話モアッタヤウ、デアリマスガ、深ク其點考ヘ云見マシテ此米穀法ノ中ニ入レル

コトハ、率勢米價ノ立テ方カラ見マシテ餘程困難ト思ヒマスカラ、更ニ別途ノ法制ノ

力ニ依テ其必要ガ生ズルダラウトシテ相當其調ヲ進メテ居ル次第アリマスカラ、今直チニ茲ニ明確ナル御答辯ヲ致スマデニ参

ラヌノハ甚ダ遺憾デアリマス
○男爵足立豐君 モウ一點御伺ヒ致シタイコトハ、昨年十月以降海外市場ニ政府ガ所

有米處分方法トシテ御出シニナッテ居ル點デアリマス、其事ハ昨日土岐子爵ヨリモ御質問ガアリマシテ大體ハ拜承イタシマシタ、併シ之ニ付テ私ノ伺ヒタイノハ、政府ノ所

有米處分ノ方法トシテナシタ點ニ付テデアリマスガ、海外市場ニ御出シニナルニハ、古米及ビ鱗質米等ノ處分ヲナサラムガ爲ニ

申シ述ベタ朝鮮或ハ臺灣デ出來タ生産費ノ安イ、而カモ質ノ宜シイ米ヲ御出シニナル

方ガ宜シカッタンデハナイカト云フコトヲ

御關係デモアテナサラナカッタノアリマセウカ、古米及ビ鱗質米ヲ御出シニナッタ

ト云フコトデアレバ、海外市場ニ於テ我が國ノ米ノ整價ト云フモノハ益々落チルノデハナカラウカ、之カラ段々產米ガ多クナル時期ニ於テ斯ウ云フコトヲナサルコトハ甚

ダ策ノ得タルモノデナイト私ハ考ヘルノデアリマスガ、此點ニ付テノ御所見ヲ伺ヒタ

ト存ジマス、普通ノ新シイ產米ヲ比較ヲ致シマスルト、内地米ヨリモ朝鮮米ガ概シテ安イノデゴザイマス、併シナガラ政府ガ只今所有シテ居ル米ハ古米古々米ヲ可ナリ多量ニ持テ居リマス、ソコニ内地及ビ朝鮮ノ大

豐作ガ參ッテ、大正六年以來ノ米價ノ大暴落ヲ見テ居ルト云フ狀況デゴザイマス、併シ非常ニ安クナリマスガ、サウ云フ時ニハ古米古々米ノ値段ト云フモノハ又更ニ著シク

安イノデアリマス、ソコデ海外ノ需要地ニ於ケル日本米ノ品質ト云フコトカラ考ヘルト、御話ノヤウニ朝鮮ノ新米ヲ出シタ方ガ

宜イヤウニモ考ヘマス、併シ今政府ノ所有

米ノ古々米若クハ古々米ト云フモノハ、只今

ト云フ時ニ止ムヲ得ズ古米、古々米ヲ賣

出スト云フノガ順序ダラウト考ヘテ居リマスノデアリマス、旁、經濟上ノ方カラ申シ

マシテモ、所有米ヲ先づ處理スルト云フコトニ致シタノデアリマス、外國ニ於ケル品

質ノコトノ如キハ永久ノ考カラ申シマスルト、御說ノ通リニ考ヘマスガ、唯昨日モ申

上ゲマシタヤウニ内地米、日本米ノ特質ト云フモノヲソレ程マデ賞讃ヲ致スマデニナ

ノデ、本年新米ヲ出シマシテモ新米ダケノ

外國米並ニ批ハレルト云フ事態デアリマス

ト云フ方ガ會計ノ上カラ申スト損デアルルト云フ方ガ會計ノ上カラ申スト損デアルマセヌ、從テ買入レテ直チニ海外輸出ヲス

マセヌ、御話ノヤウニ朝鮮ノ新米ヲ出シタ方ガマセヌ、從テ買入レテ直チニ海外輸出ヲス

ト云フヤウナ事情ガアリマスノト、ソレカ

テ買替ニ付テハ普通ノ買入賣出ト同ジデハ

ノ本質デナケレバナラヌ、又法律ノ中ニ於

テ買替ニ付テハ普通ノ買入賣出ト同ジデハ

ナク、別ニ簡単ナ方法デヤルコトヲ認メテ

居ルノハ、單純ナ保存行爲デアル、米ノ品

質ノ惡クナルノヲ防グ爲ニ新穀ト取替ヘ

簡單ニナッテ居ル、其簡單ニナッテ居ルノヲ

單純ナ保存行爲デアルト云フ爲ニ取扱振

ガ、甚ダ言葉ガ荒クナリマス

スケレドモ、實ハ濫用シタト云ハレテモ一

○上山滿之進君 私ハ別ノ問題デ御尋シマ

言モナイト思フノハ、先へ先へ身代リ米ヲ買テ、買替ヘヲシナケレバナラヌ米デアルカラ、先へ賣シテ後デ買フノナラ分ッテ居マスガ、先へ身代リ米ヲ買テ、サウシテ後カラ賣ルト、斯ウ云フコトサヘ實際ニヤッテ居ルノデアリマス、ソレカラ尙又モウツノ方法ハ賣ル時ハ少シ宛ボツリボツリ賣シテ、ソレカラソレヲ纏メテ大ギク買入レルト云フヤウナコトモヤッテ居ル、本年買替ヘ是ハ定期ノ一箇月限月デ、一箇月ガ經濟時期ニナッテ居ルノデアリマスガ、一箇月ノ經濟時期ノ間ニ買ハナケレバナラヌモノダト思ウテ居ル、本來デ行クト、特ニ交換デナケレバナラヌノデアルガ、是ハ理想デアッテ、事實實際行ハレルノハ一箇月内ニ買フノガ本當デアル、斯ウ思フノデアリマス、ソレヲ長イ間少シ販賣シテ置イテ、サウシテ一經メニシテ一時ニペット買フ、明ニ是ハ調節賣貢ノ行爲ヲ買替ヘノ名ニ隠レテヤッテ居ルノデアリマス、幸ニシテ近年ノ買替ヘハ大變能ク出來テ居リマスガ、是ハ實際實行ノ衝ニ當ル其人ニ存スルコトデアッテ、制度ノ上カラハ依然トシテ其不安ガ除カレナイ、其買替ヘニ付テ相當ナ取締ヲシナケレ

言モナイト思フノハ、先へ先へ身代リ米ヲ買フテ、買替ヘヲシナケレバナラヌ米デアルカラ、先へ賣シテ後デ買フノナラ分ッテ居マスガ、先へ身代リ米ヲ買テ、サウシテ後カラ賣ルト、斯ウ云フコトサヘ實際ニヤッテ居ルノデアリマス、ソレカラ尙又モウツノ方法ハ賣ル時ハ少シ宛ボツリボツリ賣シテ、ソレカラソレヲ纏メテ大ギク買入レルト云フヤウナコトモヤッテ居ル、本年買替ヘ是ハ定期ノ一箇月限月デ、一箇月ガ經濟時期ニナッテ居ルノデアリマスガ、一箇月ノ經濟時期ノ間ニ買ハナケレバナラヌモノダト思ウテ居ル、本來デ行クト、特ニ交換デナケレバナラヌノデアルガ、是ハ理想デアッテ、事實實際行ハレルノハ一箇月内ニ買フノガ本當デアル、斯ウ思フノデアリマス、ソレヲ長イ間少シ販賣シテ置イテ、サウシテ一經メニシテ一時ニペット買フ、明ニ是ハ調節賣貢ノ行爲ヲ買替ヘノ名ニ隠レテヤッテ居ルノデアリマス、幸ニシテ近年ノ買替ヘハ大變能ク出來テ居リマスガ、是ハ實際實行ノ衝ニ當ル其人ニ存スルコトデアッテ、制度ノ上カラハ依然トシテ其不安ガ除カレナイ、其買替ヘニ付テ相當ナ取締ヲシナケレ

バナラヌト、斯ウ云フ風ニ思フ、出來ルナラバ法律ト思ヒマスケレドモ、是非立法技術ノ問題モアリマスシ、又現ニ今米穀法ガ出テ居ルノヲ之ヲ修正改正シヤウト云フテ見タ所ガ容易ナコトデナイト思ヒマスケレドモ、何トカシテ農林大臣ハ買替ヘニ付テ相當ノ制度ヲ御考ヘニナラナケレバナラヌト思ウテ居ル、何レ施行勅令ガ出ルコトト思ヒマスガ、其點ニ付テドウ云フ風ニ御考ヘニナッテ居リマスカ、伺シテ見タイト思ヒマス

○國務大臣(町田忠治君) 只今ノ上山委員ノ御話ハ從來米穀法ノ上ニ現ハレマシタ買替ヘヲ實施イタシマシタ其事實ヲ迪テ見マスレバ、上山委員ノ御話ノヤウナ濫用ト申シテ可イカ、買替ヘノ範圍ヲ廣く解釋シテ實行シテ居タ事實ハ明カデアリマスレバ、此買生計費ニ依テ明カリマスレバ、此買換ヲ利用シテ米價ヲ維持スルト云フ考ハ、私ハ勿論今後何人ガ當局者ニナッテモ、其考ニ依テ米價ヲ相當ナ値ニ維持シヤウト云フコトノ根本對策ガ、率勢米價及ビ生產費ノ御話ハ從來米穀法ノ上ニ現ハレマシタ買替ヘヲ實施イタシマシタ其事實ヲ迪テ見マスレバ、上山委員ノ御話ノヤウナ濫用ト申シテ可イカ、買替ヘノ範圍ヲ廣く解釋シテ實行シテ居タ事實ハ明カデアリマス、殊ニ理論カラ申シマスレバ、買替ヘハ出來ルナラバ、同時ニ致シタイ、ソレガ本則デアリマス、唯是ハ實行上ハ多少困難ガアリマス

○上山滿之進君 私ハ農林大臣ト所見ヲ全然異ニスルノデアリマシテ、本來此米穀法ガ出來マシタ時ニ大正十年貴族院ノ特別委員ノ一人デ私ハアッタノデアリマス、其時ニモ出來マスガ、買替ヘノ場合ハ多ク米ガ安

過ギルカラ、米穀委員會ノ決議ニ依テ來テ買フト云フコトハ、少シ大業ニ現ハレルト同時ニ、政府ノ特別會計ノ上ニ於テモ相當見タ所ガ容易ナコトデナイト思ヒマスケレドモ、何トカシテ農林大臣ハ買替ヘニ付テ相當ノ制度ヲ御考ヘニナラナケレバナラヌト思ウテ居ル、何レ施行勅令ガ出ルコトト思ヒマスガ、其點ニ付テドウ云フ風ニ御考ヘニナッテ居リマシテ、誠ニ私殘念ニ思フケル米ノ需要供給ノ總高ニ變化ヲ及ボサナケル、ノデアリマス、所ガ何ゾ圖ラム、モウ議會ニ於テ米穀ガ通過スルト間モナク妙ナ買替ノデアリマス、今農林大臣ハ基準ガ出來ルニシタノデアリマシテ、ノデアリマス、斯ウ云フ拔ヶ道ヲ潛ラヌデト買替ニ依テサウ云フモ宜イヤウニナル、斯ウ仰セニナリマスケレドモ、是ハ私ハ全然違フト思フノデアリマス、ト云フノハ基準デヤルト云フト一定ノ基準マデ米ガ下ラナケレバ米ノ買替ガ出来ナイノデアリマス、非常ニ窮屈ニスル、マスレバ無論理論トシテハ正シイ御意見デアリマスカラ、十分考慮イタスコトニ致シマス

○上山滿之進君 私ハ農林大臣ト所見ヲ全然異ニスルノデアリマシテ、本來此米穀法ガ出來マシタ時ニ大正十年貴族院ノ特別委員ノ一人デ私ハアッタノデアリマス、其時ニモ出來マスガ、買替ヘノ場合ハ多ク米ガ安

ト、斯ウ云フコトニナリマシテ益、私ハ危
イト考ヘマス、ドウニカ一ツ此途ヲ御立テ
ニナラナケレバナラヌト私ハ思フノデアリ
マス、少クトモ出廻期ノ先ヘ買フトカ云フ
ヤウナコトハ是ハ當然施行命令デ制限ガ出
來ルノデアリマスカラ、尙ホモウ少シ詳シ
イコトモ又考ヘヤウニ依テハ出來ルカモ
知レマセヌガ、施行命令デ兎ニ角買替ヲ節
制スルト云フダケノ御方針ハ決シテ居リマ
セヌト基準ヲ設ケテモ實ハ何モナラヌト私
ハ思フノデアリマス、ドウ云フ御意見デア
リマセウカ伺ヒマス

○政府委員(石黒忠篤君) 只今ノ上山サン
ノ御話ハ基準ガ出來レバ從來ヨリモ此方法
ヲ以テ便宜ニヤルト云フヤウナコトニ流レ
易クハナイカト云フ御質問ト伺ヒマシタ、
或ハサウ云フ弊ガ將來出テ來ヌト云フコト
ヲ申上ゲル譯ニハ參リマセヌト思ヒマス、
之ヲ施行令ナリニ如何様ニ規定ヲ致シテ宜
シカト云フコトニ付テハ、能ク慎重ニ私
共ノ方ニ於テ考慮イタスコトニ致シタトイ
存ジマス、買替ニ付キマシテハ、色々ナ場
合モゴザイマスノデ、ソレ等ノ場合ヲ想像
イタシマシテ、適當ナル制限ニナルヤウニ
法規ガ出來マスルカ、ドウデアリマスルカ、
十分ニ考慮イタシタイト存ジマス、端境ノ
高イ時ニ賣リマシテ、サウシテ出廻リノ安

イ時ニ買ウト云フ位イノ間ハ已ムヲ得ヌコ
トヂヤナカラウカ、又米穀特別會計ノ上ニ
於キマシテハ、適當ナル措置デハナカラウ
カト存ジマスガ、過去ニ於キマシテ私一ツ
ノ經驗ヲ持テ居リマスルノハ、何ウモ米穀
年度ニ這入テ今ハ安イガ數量ノ關係上、夏
ニ於テハ相當高クナリハシナイカト云フヤ
ウナコトガ感ゼラレル、サウシテ政府ノ持
チ米ハ餘リ古イノ許リデ、市場ニ對シテ新
米ノ威力ガナイト云フヤウナ時ニ、新米ヲ
先ヅ買ヒマシテ、サウシテソレデ相當スル
數量ヲ徐々ニ賣テ行クト云フヤリ方ヲ取
タコトガアルノデアリマス、是ハ賣却スル
際ニハ殆ンド一度ニ賣却イタシマス譯ニ參
リマセヌガ、分ケテ月ニ一定ノ數量ヲ賣ル
ト云フコトニスレバ宜カラウト云フコト
デ、一月ニ買ヒ入レマシテ、ソレカラ二月
三万石ノ賣却ヲ致シ、三月ニ一万石ノ賣却
ヲ致シ、斯カシテ隔月ニ一万石ノ賣却ヲ致
スト云フ計畫ノ下ニヤッテ居タノデアリマ
ス、ソレガ途中デ内閣ガ更リマシタ爲ニ、打チ切ラ
レテシマッタ云フコトガアルノデアリマ
ス、或ハ是ガ先程引用ニナリマシタ、買
上タ後ト賣ラナカッタ云フコトノ良クナ
イ事例トシテ御認メニナリマシタコトハナ
カラウカト存ジマスガ、ソレハサウ云フヤ

ウナ事情ガゴザイマシタ、内閣ノ方針、内
閣ガ更リ、從テ方針ガ變ルト云フコトガナ
イ、又米價ノ事情ガ著シク變ラテ來タト云フ
コトガナケレバ、是ハ恐ラク買上げ數量ダケ
ハ、月別ニ賣ラレタモノデアラウト、斯ウ
考ヘルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ事情
ヲ考ヘテ見マスルト云フト、買替ノ制限ノ
規定ヲ如何ニ設ケタラ宜シイカト云フコト
先ヅ買ヒマシテハ、隨分考慮シナケレバナラ
ヌ色ミナ場合ガアルト云フコトヲ思ヒマス
カラ、十分ニ私共ニ於テ考慮イタシマシテ、
出来ルナラバ相當ノ規律ヲ致スヤウニ試ミ
ルコトニ御了解ヲ願ヒタイト思ヒマス
○上山滿之進君 此點ハ私兼不〜申シテ
居ルノデアリマシテ、過去ノ如キ買替ノ行
爲ハ是ハ法律違反デアルト迄信ジテ居ルノ
ト云フコトニスレバ宜カラウト云フコト
ノデアリマス、ドウ云フ規定ヲ設クト云
ノデアリマス、其點ヲハキリシテ頂キタイ
ト云フコトニハ御考ヘ下サラント、此場限
際、此買替ナルモノヲ節制スル、規律スル
規定ノ伴フヤウニ御考慮ヲ願ヒタイト思フ
ト云フコトニハ御考ヘ下サラント、此場限
見ノアル所デゴザイマスカラ唯誠心誠意實
リノ御答辯ヲ爲サルト無論考ヘマセヌガ、
實效ノ伴フヤウニ御考慮ヲ願ヒタイト思フ
ト云フコトニハ御考ヘ下サラント、此場限
ノデアリマス、其點ヲハキリシテ頂キタイ
ト云フコト迄講ズルノデハアリマセヌカラ、何
トカ此買替ヲ規律シナケレバ逆モイケマセ
ヌ、若シ今ノ當局ガ御出デニナレバ、是ハ
私ハ宜カラウト思フ、現ニ此買替ナドガ數
年間確カニ正シク行ハレテ居ルノデアリマ
スガ、何時當局者ガ變ハルカ分リマセヌシ、
其場合ニ惡イコトヲシヤウト思ヘバドンナ
ニデモ出來ルノデアリスカラ、其途ヲ塞イ
デ置クト置フコトガ、此米穀法改正ノ場合
ニ於テ殊ニ必要デアルト斯ウ考ヘルノデア
リマス

○國務大臣(町田忠治君) 上山委員ノ御意
見、其御意見ニ對シマシテハ全然御同感デ
ガ、政府ハ斯ノ如キ不都合ハスルモノデナ
イト、貴族院ノ諸君ニ思ハレタカシテ、此
法律ハ此儘デ通ツタノデアリマス、ソレヲ構
ハズニ妙ナコトヲヤラレルト云フコトデハ、
逆モ駄目デスカラ、ドウシテモ今度施行命
令ガ出ルニ付テハドウ云フ風ニ決メタラ宜
コトガナケレバ、是ハ恐ラク買上げ數量ダケ
ハ、月別ニ賣ラレタモノデアラウト、斯ウ
考ヘルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ事情
ヲ考ヘテ見マスルト云フト、買替ノ制限ノ
規定ヲ如何ニ設ケタラ宜シイカト云フコト
先ヅ買ヒマシテ、サウシテソレデ相當スル
ヌ色ミナ場合ガアルト云フコトヲ思ヒマス
カラ、十分ニ私共ニ於テ考慮イタシマシテ、
出来ルナラバ相當ノ規律ヲ致スヤウニ試ミ
ルコトニ御了解ヲ願ヒタイト思ヒマス
○上山滿之進君 此點ハ私兼不〜申シテ
居ルノデアリマシテ、過去ノ如キ買替ノ行
爲ハ是ハ法律違反デアルト迄信ジテ居ルノ
ト云フコトニスレバ宜カラウト云フコト
ノデアリマス、其點ヲハキリシテ頂キタイ
ト云フコトニハ御考ヘ下サラント、此場限
際、此買替ナルモノヲ節制スル、規律スル
規定ノ伴フヤウニ御考慮ヲ願ヒタイト思フ
ト云フコトニハ御考ヘ下サラント、此場限
見ノアル所デゴザイマスカラ唯誠心誠意實
リノ御答辯ヲ爲サルト無論考ヘマセヌガ、
實效ノ伴フヤウニ御考慮ヲ願ヒタイト思フ
ト云フコトニハ御考ヘ下サラント、此場限
ノデアリマス、其點ヲハキリシテ頂キタイ
ト云フコト迄講ズルノデハアリマセヌカラ、何
トカ此買替ヲ規律シナケレバ逆モイケマセ
ヌ、若シ今ノ當局ガ御出デニナレバ、是ハ
私ハ宜カラウト思フ、現ニ此買替ナドガ數
年間確カニ正シク行ハレテ居ルノデアリマ
スガ、何時當局者ガ變ハルカ分リマセヌシ、
其場合ニ惡イコトヲシヤウト思ヘバドンナ
ニデモ出來ルノデアリスカラ、其途ヲ塞イ
デ置クト置フコトガ、此米穀法改正ノ場合
ニ於テ殊ニ必要デアルト斯ウ考ヘルノデア
リマス

アリマス、唯命令等ニドウ書キマスカ、ソレカラ農務局長ガ先刻御答シタ如ク、買替ノ場合ニ於テモ買テ賣ルト云フ順序ヲ取ラナケレバナラヌ場合ト、先ヅ賣テ後カラ買フト云フコトガ便利ナ場合モアリマスカラ、其點ヲ施行命令マデニ相當考ヘマス、大體ニ於テ買替ト云フノハ數量ノ調節デナイ、所謂米穀法ヲ發動スペキ數量價格ノ調節ハ外デヤリマシテ、眞ニ古米ト新米トヲ交換シテ保存ノ爲ニヤルベキ米穀法全體力ラ見マスレバ、事務的ノ問題ヲ或ハ政治的ニ利用シテ居タ場合ガ絶無デナイコトハ御話ノ通リデアリマスガ、此基準ガ出來マシタ以上ハ數量價格ノ調節ハ本體ノ基準ニ依テ運用シ、買替ハ事務的問題トシテ之ニ依テ市價ヲドウシヤウト云フ意味デハナイ、只今仰セノ弊ヲ除クニハ凡ソ茲ニ何等カノ方法ヲ用ヒテ正シキ道ヲ踏ムコトニ何等カノ方法ヲ講ズルト云フコトヲ茲ニ明カニ申上ゲテ置キマス

○子爵土岐章君 私ハ先程ノ足立男爵ノ御質問ニ關聯シテ伺ヒタイノデアリマスガ、時昨日モチヨット伺タノデゴザイマスガ、時間ノ都合デ伺フコトガ出來ナカッタノデ甚ダ遺憾ニ思ヒマシタガ、米ノ處分ノコトニ付テ伺ヒタイノデアリマス、ソレハ昨日モ

同ヒマシタヤウニ、内地米ヲ外國ニ持テ行ッテ處分ヲシ、又將來モサウ云フ場合ガ起ルコトト考ヘマスルガ、昨日モ申上ゲマシタヤウニ、米ノ利用ト云フコトニ付テ農林當局ハ十分ニ御調查ガ出來テ居ナイヤウニシタノデアリマス、私ガ質問ヲ申上ゲマスコトハ、米ノ根本的對策ニ對シテ重大ナル關係ガアルト考ヘルノデアリマス、米ト致シマシテモ、化學的成分カラ考ヘルナラバ、澱粉デアルト云フコトハ既ニ御承知ノコトデゴザイマスガ、海外ニ御賣リニナルト云フコトデアレバ、彼ノ國デハ或ハ之ヲ澱粉トシテノ利用ノ方面ニ對シテ、直接之ヲ炊イテ食セラル以外ニ、或ハ「ビール」ノ原 料ニスル場合モ起ルト考ヘマス、ドウモ農 林當局トシテハ作物ノ栽培ト云フコトニ付テハ非常ニ力ヲ入レテ御出デニナルヤウデアリマスガ、其品物ノ窮極ノ目的トシテ使ハレルト云フ方面、即チ工業的方面ニ對シマシテハドウモ十分ナ御研究ガナイヤウニ考ヘラレルノデアリマス、從ツテ其調節ヲ行ハレル場合ニ於テ、兎ニ角結果ニ於テ十分ナ效果ガ現レヌト云フコトハ、其點ニ存スルト私ハ考ヘマス、其事ニ付テ、米ガ「ビール」ノ原料ニ使ハレル是ハ獨逸ノ如キハ「ビ

「ビール」ノ醸造ニ對シテ居リマス、又英國ノ如キハ、只今シタ所ノ飴ヲ土臺トシテ、之ニ「ホップ」ヲ入ルコト考ヘマスルガ、昨日モ申上ゲマシタヤウニシタ所ノ飴ヲ土臺トシテ、之ニ「ホップ」ヲ入ルコトハ、米ノ根本的對策ニ對シテ重大ナル關係ガアルト考ヘルノデアリマス、私トシテ重大ナル關係ガアルト考ヘルノデアリマス、米ト致シマシテモ、化學的成分カラ考ヘルナラバ、澱粉デアルト云フコトハ既ニ御承知ノコトデゴザイマスガ、海外ニ御賣リニナルト云フコトデアレバ、彼ノ國デハ或ハ之ヲ澱粉トシテノ利用ノ方面ニ對シテ、直接之ヲ炊イテ食セラル以外ニ、或ハ「ビール」ノ原 料ニスル場合モ起ルト考ヘマス、ドウモ農 林當局トシテハ作物ノ栽培ト云フコトニ付テハ非常ニ力ヲ入レテ御出デニナルヤウデアリマスガ、其品物ノ窮極ノ目的トシテ使ハレルト云フ方面、即チ工業的方面ニ對シマシテハドウモ十分ナ御研究ガナイヤウニ考ヘラレルノデアリマス、從ツテ其調節ヲ行ハレル場合ニ於テ、兎ニ角結果ニ於テ十分ナ效果ガ現レヌト云フコトハ、其點ニ存スルト私ハ考ヘマス、其事ニ付テ、米ガ「ビ

「ビール」ノ原料ニ使ハレル是ハ獨逸ノ如キハ「ビ

「セント」ハ米ヲ使テ居ルト云フコトガ明ニナツテ居リマス、又英國ノ如キハ、只今シタ所ノ飴ヲ土臺トシテ、之ニ「ホップ」ヲ入ルコト考ヘマスルガ、昨日モ申上ゲマシタヤウニシタ所ノ飴ヲ土臺トシテ、之ニ「ホップ」ヲ入ルコト考ヘマスルガ、此碎米ノ輸入ヲ出來ルダケ防止シテ、内地ノ政府ノ持テ居ル古米ヲ以テ之ノ代リヲ致サセタイト云フヤウナ考ヲ持テ、相當研究若クハ其方ノ運ビニ進ミツ、アリマシタガ、マダ十分ノ效果ハ現レマセヌ、實ハ土岐子爵ノ御話ノ「ビール」ノ原料ト相成ルト云フヤウナコトハ、甚ダ私トシテハ十分知リマセヌデアリマシタガ、昨年ノ大豊作ニ依テ何等カ之ヲ工業原料トシテ使フ方面ニ進ミマスルト、米穀法ノ發動ヲ幾分カ減スコトガ出來ルコトニモ相成リマスルガ故ニ、御說ヲ承ハリマシテ尙ホ今後ハ折角、工業利用ニ米ヲ用ヒルト云フ方ニ、單リ内地ノミナラズ御話ノ通リ海外ニ向テモ其利用ヲ進メルコトニ十分努力シ又相當ナル施設ヲ考ヘマス、今日ハ十分御満足ヲ得ル御答ヘラスル迄ニ進ンデ居リマセヌガ御說ノコトハ至極御同感デアリマスカラ、何等カ之ヲ利用ヲ致シマスル施設ヲ取急イデ研究ヲ致シタガ、左様御承知ヲ願ヒマス○上山滿之進君 モウ二點ダケ伺ヒマス、此間一應伺ヒマシタガ、生産費生計費ノ調査ガ出來タ暁ニ、生産費生計費ト率勢米價ヲ如何ニ組合ハスカト云フ問題デアリマス、農林大臣ノ御答ヘハ、時ノ事情ニ依テ

一概ニ決メラレナイト云フヤウナ風ニ伺ヒ
マシタガ、ソレデハ基準ト云フコトガ又始
終動クヤウニナルノデハアリマセヌカ、私
ハ生産費生計費率勢米價、總テ調査ガ十分
出來タ曉ニ於テ、之ヲ適當ニ組合ハシテ基
準ヲ定ムルト云フコトニハ異存ハナイノデ
アリマス、ケレドモ其基準ヲ定ムルニ當
テ、其時ノ模様ダト云フノダト云フト、喧
シイ率勢米價ノヤウナ窮屈ナ高等數學ノ算
法デ割出シタ趣意ト一致セヌヤウニ思フ、
農林省ノ調べガ、不完全ダト御断リニナツテ
居リマスルカラソレハソレデ宜シウゴザイ
例ヘバ今日ノ米價デ、率勢米價ダト十八圓、
農林省ノ調べガ、不完全ダト御断リニナツテ
居リマスルカラソレハソレデ宜シウゴザイ
バ二十圓カ二十一圓、率勢米價ダトスルト
十八圓、要スルニ四圓許リノ差ガ起テ來
ル、茲ニ又廣ク喧シイ問題ガ起ル、私ハ生
産費生計費ト率勢米價ノ組合セハ、組合ハ
ズシモ二分ノ一ト申シマセヌ、マダ適當ノ
俗ニ能ク分ルコトデアルト思フ、ソレハ必
考ヘガアルカモ知レマセヌガ、兎モ角基準
ヲ定ムル場合ニ色ニナ事情デ變更スルト云
フコトデハ困ル、組合セヲ何カ一定ノ標準

デ決メルト云フコトデナケレバナラヌヤウ
ニ思ヒマス、農林大臣ハ御再考ノ餘地ハア
リマセヌカト云フコトヲ伺ヒマス
○國務大臣(町田忠治君) 先日モ其御尋ガ
アリマシテ、大正三年以後、米價調節ノコ
トニ對シテ、政府側トシテ或ハ委員側トシ
テ、長イ間御研究サレテ居ル上山サンノ只
今ノ御意見ニ對シテハ、此處デ明ニ御趣意
ノ通リ致スト云フ御返事ヲスレバ御満足ト
思ヒマスガ、私ノ幾分カ今ノ御話ニ對シテ
躊躇イタス點ヲ大體申シマス、國家ガ買入
レル場合ニハ率勢米價ノ下値二割ト生産費
ト、此ニツヲ以テ其間ヲ時ノ當局者ガ達觀
的ニ見テ、米穀委員會ニ諸々テ買入ノ場合ヲ
決メルノデアリマス、衆議院ニ於テハ希望
條件トモ見フルベキ意見トシテ、左様ナ場
合ニハ出來ルダケ生産費ニ近イ値ヲ以テ政
府ガ發動セヨト云フノガ委員多數ノ希望デ
アリマシタ、察スルニ農村及ビ農家ノ今日
ノ實情ヲ深ク考ヘラレテノ御意見ト思ヒマ
ス、此時ニハ私ハ斯様ニ答辯イタシマシタ、
農村今日ノ實情カラ申セバ、若シ生産費ト
率勢米價下値二割ノ間ニ相當ノ隔たりガア
ッ、農村全體ノ點カラ生産費ニ近イ

所ニ定メヨト云フ御希望ハ御尤モナ御希望
デアルガ、之ヲ出動スル所ノ經濟界ノ大體
ノ事情或ハ率勢米價ヲ算出スル所ノ物價指
數ニ對シテ相當ナ變化ヲ來シタヤウナ場
合ガアレバ、此率勢米價ノ動キモ、相當大
ニ依テ參ラヌコトモアルカモ知レヌト云
イニ動キガ生ズル、デアルカラ必ズシモ生
産費ニ近イト云フヤウナ譯ニハ、時ノ事情
ニ依テ參ラヌコトモアルカモ知レヌト云
アリマシテ、大正三年以後、米價調節ノコ
トニ對シテ、政府側トシテ或ハ委員側トシ
テ、長イ間御研究サレテ居ル上山サンノ只
今ノ御意見ニ對シテハ、此處デ明ニ御趣意
ノ通リ致スト云フ御返事ヲスレバ御満足ト
思ヒマスガ、私ノ幾分カ今ノ御話ニ對シテ
躊躇イタス點ヲ大體申シマス、國家ガ買入
レル場合ニハ率勢米價ノ下値二割ト生産費
ト、此ニツヲ以テ其間ヲ時ノ當局者ガ達觀
的ニ見テ、米穀委員會ニ諸々テ買入ノ場合ヲ
決メルノデアリマス、衆議院ニ於テハ希望
條件トモ見フルベキ意見トシテ、左様ナ場
合ニハ出來ルダケ生産費ニ近イ値ヲ以テ政
府ガ發動セヨト云フノガ委員多數ノ希望デ
アリマシタ、察スルニ農村及ビ農家ノ今日
ノ實情ヲ深ク考ヘラレテノ御意見ト思ヒマ
ス、此時ニハ私ハ斯様ニ答辯イタシマシタ、
農村今日ノ實情カラ申セバ、若シ生産費ト
率勢米價下値二割ノ間ニ相當ノ隔たりガア
ッ、農村全體ノ點カラ生産費ニ近イ

所ニ定メヨト云フ御希望ハ御尤モナ御希望
デアルガ、之ヲ出動スル所ノ經濟界ノ大體
ノ事情或ハ率勢米價指數ニ對シテ相當大
ニ依テ參ラヌコトモアルカモ知レヌト云
アリマシテ、大正三年以後、米價調節ノコ
トニ對シテ、政府側トシテ或ハ委員側トシ
テ、長イ間御研究サレテ居ル上山サンノ只
今ノ御意見ニ對シテハ、此處デ明ニ御趣意
ノ通リ致スト云フ御返事ヲスレバ御満足ト
思ヒマスガ、私ノ幾分カ今ノ御話ニ對シテ
躊躇イタス點ヲ大體申シマス、國家ガ買入
レル場合ニハ率勢米價ノ下値二割ト生産費
ト、此ニツヲ以テ其間ヲ時ノ當局者ガ達觀
的ニ見テ、米穀委員會ニ諸々テ買入ノ場合ヲ
決メルノデアリマス、衆議院ニ於テハ希望
條件トモ見フルベキ意見トシテ、左様ナ場
合ニハ出來ルダケ生産費ニ近イ値ヲ以テ政
府ガ發動セヨト云フノガ委員多數ノ希望デ
アリマシタ、察スルニ農村及ビ農家ノ今日
ノ實情ヲ深ク考ヘラレテノ御意見ト思ヒマ
ス、此時ニハ私ハ斯様ニ答辯イタシマシタ、
農村今日ノ實情カラ申セバ、若シ生産費ト
率勢米價下値二割ノ間ニ相當ノ隔たりガア
ッ、農村全體ノ點カラ生産費ニ近イ

ネ致シタイノデスガ、此生産費、生計費ヲ
調べルコトニ付キマシテ、此各項目ニ付テ
ハ私ハモウ質問ヲ致シマセヌ、ケレドモ調
べラレル人間ガ故意ニ虚偽ノ申立ヲ
シテモ亦制裁ガナイヤウデアリマス、此點
ハ施行勅令デ御定メニナルコトト思ヒマス
ガ、如何デアリマセウカ、ドウモ全國多數
ノ人ニ調ベラ命ズルノデアリマシテ、其中
ニハ色ニナ關係デ虚偽ノ申立ヲシナイトモ
限ラヌ、是ガ虚偽ノ申立デアルト、折角調
べ上ゲタ生産費ノ基礎ト云フモノガ全然役
ニ立タナクナルノデ、此點ニ付テモ施行勅
令ニデモ御設ケニナルガ適當ダト思ヒマス
ガ、其邊ノ御準備ハドウ云フ風ニナンテ居リ
マスカ

○政府委員(石黒忠篤君) 生産費竝ニ家計
費ノ調査ニ關シマシテハ特ニ豫算モ頂戴ヲ
致スコトニ要求シテ居リマシテ、指導ヲ致
シマスト同時ニ十分ノ監督モ出來ルダケ致
シタイト云フ考ヲ持テ居リマスルガソレ
ノミナラズ御話ノヤウナ點ニ付テモ相當ノ
施行令ニ規定ヲ設ケテ取締ヲ致シタイト云
「前條ノ最低價格又ハ最高價格ハ命令ノ定
ムル所ニ依リ左ニ掲タル事項ヲ基礎トシテ
之ヲ定ム」ト云フコトニシテ三ツノ事項ヲ掲

○子爵片桐貞央君 私ハ數字的ノコトデチ
ヨット伺ヒタイ、率勢米價ノ標準ヲ御執リニ
ナッタ算定方法デスガ、此算定方法ハ色々ニ
法ガアルヤウニ聞イテ居リマスガ、今度御
採リニナッタ方法ハ他ノ方法ヨリ一番是方
宜イト云フ所ハ何處ニアルノデゴザイマス
カ、又外國ニモ斯ウ云フ率勢米價ノ算定方
法ヲ執テ現在はガ一番宜イト云フテヤッテ
居ル所ガアルノデゴザイマス、ソレヲ伺ッテ
見タイ

○國務大臣(町田忠治君) 今ノ問題ハ長イ
間此問題ヲ研究サレテ居リマシタ米穀課長
カラ御答ヘスルコトニ致シマス

○政府委員(荷見安君) 此率勢米價ノ算出
方法ヲ何故採用シタカト云フコト付ニキマ
シテハ、農務局長カラ説明ヲ詳シク申上ダ
マシタノデ私申上ゲマセヌガ、只今御質問

ゲテ居リマスガ、是ハ調べノ方法ヲ書キマ
スルト同時ニ記帳者等ニ對シマスル取締規
リデ居リマス、御手許ニ配付ヲ致シマシタ
米穀法施行ニ關スル命令ノ要綱ノ最後ニ十
一ト致シマシテ記帳者ノ取締ノ規定ヲ定メ
ル積リデ居ルト云フコトヲ申上ゲテ置キマ
ス

○上山満之進君 私ハ宜シウゴザイマス
○子爵片桐貞央君 私ハ數字的ノコトデチ
ヨット伺ヒタイ、率勢米價ノ標準ヲ御執リニ
ナッタ算定方法デスガ、此算定方法ハ色々ニ
法ガアルヤウニ聞イテ居リマスガ、今度御
採リニナッタ方法ハ他ノ方法ヨリ一番是方
宜イト云フ所ハ何處ニアルノデゴザイマス
カ、又外國ニモ斯ウ云フ率勢米價ノ算定方
法ヲ執テ現在はガ一番宜イト云フテヤッテ
居ル所ガアルノデゴザイマス、ソレヲ伺ッテ
見タイ

○國務大臣(町田忠治君) 今ノ問題ハ長イ
間此問題ヲ研究サレテ居リマシタ米穀課長
カラ御答ヘスルコトニ致シマス

○政府委員(荷見安君) 此率勢米價ノ算出
方法ヲ何故採用シタカト云フコト付ニキマ
シテハ、農務局長カラ説明ヲ詳シク申上ダ
マシタノデ私申上ゲマセヌガ、只今御質問

ノ何故斯ウ云フ風ナ直線式ニ依ル算定方法
ガ適當ト認メタカト云フコトニ付テハ簡單
ヘ差上ゲマスガ、米價率及其ノ趨勢值ト云
フ此圖デ足取ヲ調査シタモノガゴザイマス
ノデ、一應御覽ヲ願フト宜イト思ヒマスガ、
大體米價率ト申スノハ、農務局長ガ此前申
上ゲマシタヤウニ、一般物價指數ヲ一ト致
シマシタ場合ニ米價指數ハ如何程ニナルカ
ト云フ割合ヲ算出シタモノデゴザイマス、
ガソレハ結局物價ノ變動ノ共通ノ原因ト云
フモノヲ先づ除キマシテ米獨得ノ性質ニ依
テ動キマスル價格ノ變動ト云フモノヲ見出
スノニ一番都合ノ好イ方法デゴザイマス、
其米價率ト云フモノヲ明治三十四年カラ
ズット昭和六年ニ百二十ノ線ノ今少シ下ニ
點ガアリマス所デ結ビ付ケタ直線ガ出テ居
リマスガ、是ガ明治三十四年カラ昭和五年
迄ノ趨勢ニ依リマシテ米價ノ實際ノ動キハ
ドウ云フ風ニアルカト云フコトヲ現ハシタ
線ニナリマスノデゴザイマス、ソレデ只今
御話ノアリマシタ直線式ガ宜イノカ曲線式
ガ宜イノカト云フヤウナ問題モ、結局之ヲ
直線ニ現ハシタ方ガ米價率ノ趨勢ヲ見ルノ
ニ現ハレタ方ガ一番宜イノデアルカドウカ、曲線
ニ現ハレタ方ガ一番宜イノデアルカト云フ
比較ノ問題ニナルト思ヒマス、ソレデ率勢
米價ノ説明ノ方ニ直線ノコトガ能ク書イテ
アリマスノデ、之ヲ御覽ヲ願ヘバ宜イト思
ヒマスガ、曲線詰リ曲々線デゴザイマス、
曲線デヤリマシタ場合ノコトモ此前計算イ

タシマシタモノガゴザイマスノデ、ソレニ依リマシテ其結果ヲ申上ゲテ見マスト、直線ノ方ガ率勢米價ヲ算出スルニハ適當デアルト云フコトガ一應御了解ヲ得ルコトニ宜ト、此直線デ算出イタシマシタル率勢米價ノ中值ト云フモノヲ其年ミノ過去ノ實際ノ平均値段ト云フモノニ較ペテ見マスルト云フト、直線式ノ場合ニハ、其中値カラ二圓ノ相違ノアリマスモノガ、其直線式ノ計算ニ依リマスト云フト、上ニ六回、下ニ五回、四回、合計十八回ト云フモノハ四圓以内……上下トモ四圓以内ノ所ニ上テ居ルノデアリマス、然ルニ曲線デ行クト、「ペーボラ」式デヤリマシタ場合ハ、上ニ二圓ノ差ノアルモノガ一回、下ニ二圓ノ差ノアルモノガ八回、上ニ四圓ノ差ノアルモノガ一回、下ニ四圓ノ差ノアルモノガ三回、合計十三回ニナリマシテ、直線式ノモノヨリ「バラボラ」式デ算出イタシマシタモノガ、其年ノ米ノ中值ニ較ペマスト酷ク隔リガアル、結局米價率ノ移動シマシタ其中心ヲ通テ居ラヌ場合ガ多イト云フコトニナルノデアリマス、其只今申上ゲマシタ回數ハ全部デ二十回ノ中ニサウ云フ風ノコトガ出來マスノ

ハ不適當デアルト云フ説明ニナルモノニアルト云フコトハ、専門家モ申シテ居リマス、又「ペーセント」ニ出シテ見マスト云フト、モ直線式ノ場合ハ上下ニ十「ペーセント」ノモガ十回、ソレカラ二十「ペーセント」以内ノモノガ十回、結局二十回ダケハ其二十「ペーセント」以内ニ納ルノデアリマスケレドモノ、「ペーボラ」式ニ依リマスト、十「ペーセント」以内ノモノガ十回、二十「ペーセント」以内ノモノガ三回アリマシテ、結局十三回ト云フコトニナリマス、詰リ其算出イタシマント線ガ、中心ヲ通テ居リマス場合ガ直線式ノ方ガ多クテ、「ペーボラ」式ノ方ガ少イ、斯ウ云フ計算ニナリマスノデ、是ハ先マシテハ趨勢値ヲ求メルノニハ不適當デアルモノスカラ、ソレヲ少シ組入レマシタ算式デ、基礎年度ニナリマス時ノ米價率ノ趨勢値ガ出ルノデアリマスガ、サウ云フ風ニシテ行クト、一層正確デアルト云フコトノ數ヲ掛ケタモノヲ加ヘマシテモノヲ以テ現シテ行クト、一層正確デアルト云フコトノ説明ニナル譯デゴザイマス、其「ワイ・エ

ト・エー・プラス・ビーエックス」ト云フカラウト云フコトニ落付イタ次第デアリマス、ソレデ其算式ハドウデアルカト云フコトニナリマスルト、是ハ米價率ノ趨勢値ノケル米價率ノ趨勢値ト、其米價率ノ毎年ノ

デ、是ハ數學上ノ誤差ノ理論カラ致シマシテモ、誤差ノ少イ方ガ中庸……詰リ妥當ナル線ヲ見出スモノニアッテ、誤差ノ多イ方ハ、斯ウ云フ場合ニハ中心ノ値ヲ見出スニアルト云フコトハ、専門家モ申シテ居リマス、又「ペーセント」ニ出シテ見マスト云フト、モ直線式ノ場合ハ上下ニ十「ペーセント」ノモガ十回、ソレカラ二十「ペーセント」以内ノモノガ十回、結局二十回ダケハ其二十「ペーセント」以内ニ納ルノデアリマスケレドモノ、「ペーボラ」式ニ依リマスト、十「ペーセント」以内ノモノガ十回、二十「ペーセント」以内ノモノガ三回アリマシテ、結局十三回ト云フコトニナリマス、詰リ其算出イタシマント線ガ、中心ヲ通テ居リマス場合ガ直線式ノ方ガ多クテ、「ペーボラ」式ノ方ガ少イ、斯ウ云フ計算ニナリマスノデ、是ハ先マシテハ趨勢値ヲ求メルノニハ不適當デアルモノスカラ、ソレヲ少シ組入レマシタ算式デ、基礎年度ニナリマス時ノ米價率ノ趨勢値ニ、年々ノ米價率ノ趨勢値ノ増加率ニ年数ヲ掛ケタモノヲ加ヘマシテモノヲ以テ現シテ行クト、一層正確デアルト云フコトノ代數式ヲ解キマシタモノガ此後ニアリマスイモノデアルト云フ原則カラ、詰リソレヲ微分ノ方法デ偏微分ヲ出シマシテ、ソレ代數式ヲ解キマシタモノガ此後ニアリマス「エー・エコール」、「ビー・エコール」ト云フ方法ニナリマス、ソレデゴザイマスカラ、代數式ノ解キ方ヲ茲デ申上ゲマスルコトハ、非常ニ煩雜デ申上ゲルニハ申上ゲラレマスガ、口デ申上ゲルノモ如何カト思ヒマス、代數ノ解キ方ヲ茲デ申上ゲマスルコトコトハ、餘リドウモ煩鎖過ギマスト思ヒマス

スノデ、其方法ヲ申上ゲテモ工合ガ悪イト
思ヒマスノデ、マア出來マス限リハ只今位
ノ御説明ヲ申上ゲテ置キマス、是ガ一番適
當デアルカドウカト申シマスト、先ニ申上
ゲマシタ、曲線式ノ場合ヨリハ誤差ガ少イ
ト云フコトニ於テ適當デハナカラウカト云
フ結論ニ私共ハ到達イタシテ居リマス、之
ヲ御覽下サッテ見レバ分リマスヤウニ、大體
論ニ於キマシテハ、米價率ノ高低シマスル
中心ヲ狙ツテ線ヲ引キマシタモノニナリマ
スカラ、是デ御了承ヲ願ヒマス、ソレカラ
外國ニ於テ斯ウ云フ風ナモノデ、何カ價格
ノヤウナモノヲ算定シテ居ル例ガアルカト
云フコトデアリマスガ、是ニ關係イタシマ
シタ専門家ノ間デ色々調べテ貴ヒマシタ
ガ、只今マデデハ、外國ニモ之ヲ出シテ居
ル例ヲ發見イタシテ居リマセヌデアリマ
ス、唯ダ今申上ゲマシタヤウナ理論デ、此
直線式ノ方法ヲ用ヒテ出シマシタ率勢米價
ト云フモノハ、過去ノ實績カラ推シテ、現
在ノモノハ過去ノ實績ニ徵スルノニハ如何
デアルベキカト云フコトヲ算出イタシマス
ルノニハ、一番適當ナ方法デヤナイカ、算
術平均ノヤウナ方法ヲ用ヒルヨリハ、此方
ガ宜カラウ、斯ウ云フ風ノ考ヘヲ以チマシ
テ、立案イタシマシタ次第デゴザイマス

○子爵片桐貞央君 今伺ヒマスルト、外國
デハ斯ウ云フ風ノ例ハナイト云フ御話デア
リマスガ、算定法ガ、マダ外ニ連鎖法ト力
色ミ種類ガアリマス、算定法ガアル、連鎖
法ナドト云フノハ、現在採^ヲテ居ラ^シヤル
方法ヨリ餘程悪イ結果ニナリマスカ、之ヲ
取リマストスレバ……

線デアルトカ云フヤウナ色ミナ算式ガアル
ヤウデアリマス、併シサウ云フ算式ヲ用ヒ
マスト云フト年々ノ特殊ノ事情ガ其中ニ取
入レラレルト云フコトニナル點ハ宜シイノ
デアリマスガ、サウ云フ年々ノ特殊ノ變動
ト云フモノヲ取入レル結果、將來ノ大體ノ
趨勢ヲ……將來ト申シテハイケマセヌデシ

若シ買入ノ場合ニハ、率勢米價下値二割ト
生産費、賣出ス場合ニハ家計費ト率勢米價
上値二割ノ間デ立テルノデアリマス、生産
費調査ハ農林省ニ於キマシテモ、極メテ不
完全ナ方法デアリマスガ、從來モヤフテ居リ
マス、併シ是ハ極メテ全國ニ瓦ツチ少數ノ中
農ヲ基礎トシテ、聽取調査デヤッテ居ルノデ

○子爵片桐貞央君 今伺ヒマスルト、外國デハ斯ウ云フ風ノ例ハナイト云フ御話デアリマスガ、算定法ガ、マダ外ニ連鎖法ト力色ミ種類ガアリマス、算定法ガアル、連鎖法ナドト云フノハ、現在採テ居ラッシャル方法ヨリ餘程悪イ結果ニナリマスカ、之ヲ取りマストスレバ……

○政府委員(石黒忠萬君) ドウ云フ方法ヲ以テ出シタラ宜イカト云フコトニ付キマシテハ米穀調査會デモ委員ノ中ノ一人ノ學者カラ、移動平均ト云フヤウナ方法ヲ以テヤンタラ宜カラウト云フ說ガ出マシタ、ソレハ例ヘバ三年ノ平均ヲ取ルガ、中心ヲ順順ニ移シテ、一遍ヅ、中心ヲ移シテ三年取ツテヤッテ行クト云フ趨勢値ヲ算出シテ行ク方法モアルノデアリマスガ、ソレハ荷見政府委員ガ申上ゲタ中ニゴザイマス、變差ガ非常ニ大キクナリマシテ適當デナイト云フコトニ研究ノ結果ナッテ居ルノデアリマス、ソレカラ其外尙ホ直線式ノ最小自乗法以外ニ、米價ノ趨勢ヲ曲線的ニ發展スルモノデアルト見テ複利算式デヤルト云フノニ、今荷見君ガ言ヒマシタ拋物線式ノ外ニ何デモソレ以上ノ面倒ナモノガアルラシイノデス、

「ローカリズム」曲線デアルトカ、三次以上

○田村新吉君 此法案ニ依テ拜見シマスニ、米ノ買入又ハ賣出價格ヲ定メルニ其基礎ヲ生産費、家計費及ビ趨勢ニ依ル率勢價格ニ依ラムトセラレタノハ私ハ誠ニ適當ナ方法デアルト思ウテ居リマス、此三項中現在ニ於テハ率勢價格ノ調査ノミヲ十分セラレテ居ルヤウデアリマスガ、生産費、家計費ノ調査ハ如何ナル程度ニマデ進ンデ居ルデアリマセウカ

○國務大臣(町田忠治君) 只今御尋ノ通り

若シ買入ノ場合ニハ、率勢米價下値二割ト
生産費、賣出ス場合ニハ家計費ト率勢米價
上値二割ノ間デ立テルノデアリマス、生産
費調査ハ農林省ニ於キマシテモ、極メテ不
完全ナ方法デアリマスガ從來モヤッテ居リ
マス、併シ是ハ極メテ全國ニ瓦ツテ少數ノ中
農ヲ基礎トシテ、聽取調査デヤッテ居ルノデ
アリマスガ、此度ハ相當ナ豫算ヲ御願ヒ致
シマシテ、全國數十府縣ニ瓦ル多數ノ農家
ニ付テ、一々雛形ニ依ツテ記帳サセマシテ、
ソレヲ集メルノデアリマスルガ、今後ハ生
計費、生産費ノ相當ナ調査ガ出來ルコトト
思ヒマス、或ハ一年ノ間ニ之ヲ完成スルヤ
ウニト云フヤウナ希望モ衆議院ニハアリマ
シタ、出來ルダケ早ク此調査ヲヤル積リデ
アリマスガ、必ズ一年トハ參ラヌ事情ヘ、
家計費ナドハドウシテモ來年ノ暮ニナラヌ
ケレバ幾ラ急イデモ現ハレテ來マセヌノデ
アリマス、併シ本則ハ家計費、生産費ト率
勢米價ト云フコトニナリマシテ、附則ニ於
キマシテ應急一時ノ方法トシテ率勢米價一
筋デヤルコトニナッテ居リマスカラ、出來ル
ダケ早ク本則ニ立戻シテ實行スルコトニ致
シマス、ソレカラ大抵御覽デアリマセウガ、
ガ澤山アリマシテ、學者ノ間ニ於キマシテ

モ、此要項ニ付キマシテ非常ナ長イ間ノ審議ガアリマシタ、大體意見ノ一致ヲ見マシタ上ニ、更ニ九州大學、北海道大學等ノ農家經濟ノ専門家タル博士連ヲ皆東京ニ御出ラ願ツテ、ソコデ又相當ノ意見ヲ聞ハシタ上ニ家計費ノ要項、生産費ノ要項等ニ付キマシテ、大體私共ノ是ナラバ正確ナモノニ行ケルダラウト云フコトノ箇條ハ御廻シ致シテアリマス、之ニ付キマシテモ詳シク申上ゲマスト、農家ノ生産費ヲ出スペキモノノ一番大キナモノハ勞働賃銀デアリマスガ、此勞働賃銀ノ中ノ子供ヤ爺婆ガ野良仕事ヲシテ居タ賃銀ヲ幾ラニスルカト云フ細カイ議論モアッテ、相當ソレモ出來テ居リマスガ、ソレニ付テハ長イ間研究ノ上、調査會並ニ學者ノ意見ヲ集メマシテ、相當ソ點マデヤッタ考ヘテ居リマス、時間ハ短力ク……急ギマシテモ來年ノ暮ト思ヒマス、極メテ急ギマシテ其邊デアラウト思ヒマス、出來ルダケ取急イデ附則ニアリマス率勢米價一本立デ行クコトヲバ避ケルコトニ爲シタイト思ヒマス。

○田村新吉君 此價格ヲ定メマスノニ、生産費、家計費、之ニ率勢米價ト云フモノヲ基礎トスルト云フコトガ適當デアルト認メテ居テ、而シテ其中ノ率勢米價ノミニ依テハ、生産費及ビ家計費ノ調査ニ相當ノ時日ヲ要スルカラデアルト云フコトハヨク諒解サレテ決定サレル價格ガ適當デアルト云フノニ、唯率勢價格ノミテ或ル期間行テ行クト云フコトガ、何ダカ私ハ適當デナイヤウニ思ヒマス、之ヲ拜見イタシマスト當分ノ内ト云フコトニナッテ居リマス、此當分ト云フモノノ期間ガドレ程デアラウカ、幾回モ或ハ買入レ或ハ賣渡スト云フコトガ、此率勢價格ノミニ依テ行ハレルト云フコトデアルナラバ、相當考慮スペキモノデアルト云フ風ニ考ヘマシタノデスガ、サウ致シマスト、今ノ御答ニ依リマスト、當分ト云フコドハ凡ソ何時ト考ヘタラ宜シウゴザイマセウカ

○國務大臣(町田忠治君) 私ハ此處デ長クトモ何年ト云フコトヲハッキリ御答ガ出來マスレバ、委員各位ノ御希望ニ副フト思ヒマスルガ、私ノ方デハ急イデ之ヲヤリマシテ、衆議院邊リニ於キマシテモ其點ガ頻リニ論議セラレテ、當分ト云フコトハ長イ間マスルガ、是ハ早ク力ヲ盡サレテ調査ヲ終了サレデ出來ルト考ヘル人モアリ、又三年掛カルカモ知レナイト云フ、隨分是ハ長イ期間ヲ殆ド豫期サレテ居ルヤウナコトニナリマスガ、是ハ早ク力ヲ盡サレテ調査ヲ終了サレル途ハナイノデゴザイマセウカ

○政府委員(石黒忠篤君) 只今ノ田村サンニ御尋ねニ付キマシテハ、先日實ハ私ハ申上ゲタノデゴザイマスガ、農務局ト致シテハ、生産費ノ調ベ少シデモ早ク終了シテハ、生産費ノ調ベ少シデモ早ク終了多數ノ農家ノ記帳ヲ完了シテソレヲ整理シ

ハ、生産費及ビ家計費ノ調査ニ相當ノ時日ヲ要スルカラデアルト云フコトハヨク諒解サレテ決定サレル價格ガ適當デアルト云フノニ、唯率勢價格ノミテ或ル期間行テ行クト云フコトガ、何ダカ私ハ適當デナイヤウニ思ヒマス、之ヲ拜見イタシマスト當分ノ内ト云フコトニナッテ居リマス、此當分ト云フモノノ期間ガドレ程デアラウカ、幾回モ或ハ買入レ或ハ賣渡スト云フコトガ、此率勢價格ノミニ依テ行ハレルト云フコトデアルナラバ、相當考慮スペキモノデアルト云フ風ニ考ヘマシタノデスガ、サウ致シマスト、今ノ御答ニ依リマスト、當分ト云フコドハ凡ソ何時ト考ヘタラ宜シウゴザイマセウカ

○田村新吉君 今ハ質問ノ時デアリマスカラシテ、意見ヤ希望ヲ申上グベキ時デナイト思ヒマスケレドモ、今仰セノヤウニ二年カモ知レナイト云フ、隨分是ハ長イ期間ヲ殆ド豫期サレテ居ルヤウナコトニナリマスガ、是ハ早ク力ヲ盡サレテ調査ヲ終了サレルヤウニシナケレバナラヌノデアリマス、此點ガ可成リ無理ガアリハセヌカト云フコトヲ惧レテ居リマスガ、昭和五年度ノ產米ニ對シマシテ農林省ト致シマシテ、試ミニ十三縣二十六戸バカリニ瓦リマシテ記帳ヲサセタノデアリマス、ソレノ結果ハ先ツト月一杯ニ調査ヲ十分纏メルコトガ出來ヤウト云フ經驗ヲ得タノデゴザイマス、併ナガラ今度ハサウ云フ戸數ノ少イコトデゴザイマセヌ、多數デゴザイマスカラ、ソコニ

ソレデ今回御協賛ヲ得マルナラバ、同時ニ又豫算モ頂戴スルコトデアリマルカラ、米價ノ基準調査ト致シマシテハ、實ハ少シ時期ガ遲レタ觀ガゴザイマスルガ、四月ヨリ直チニ記帳ヲサセルヤウナ手配ヘ致シテ居リマス、此記帳ガ米價デゴザイマスルカラ、ドウシテモ十一月マデハ記帳ヲ致スノデアリマス、ソレヲ餘程急ギマシテ十一年掛カリハセヌカト云フ意見モアリマセウガ、此處デ何年ト云フコトハ極メテ困難ナリマス、此處デ何年ト云フコトハ極メテ困難ナリマス、當年豫算ニ於キマシテ相当ナ經費ヲ要求モ致シテ居リマスカラ、豫算通過ノ上ニハ直チニ著手イタシマス、尙ホ其詳細ノコトハ各府縣ニドウ云フ選ビ方ヲスルト云フコトニ付キマシテハ局長ヨリ申上ゲタイト思ヒマス

テ調べテ出スト云フコトガマダ經驗ヲ得テ居リマセヌカラ、多少ノ狂ヒガ來ヤセヌカト云フコトヲ恐レテ居リマス、併シ農務當局ト致シマシテハ、出來ルダケ本年ノ四月カラノ調べヲ本年ノ十一月ニ取纏メテ結果ヲ出スト云フコトニ努力ヲ致ス考デアリマス

○絲原武太郎君 只今農務局長ノ御説明ニ依リマシテ、大臣ノ方デハ二年乃至三年ノ後ニアラザレバ、是ガ適用ガムヅカシカラウト云フ御答デアリマシタ、農務局長ノ方ニ於カレマシテハ、前回カラ兎ニ角生産調査ハ四月カラ始テ十一月マデニ終リタイト

○政府委員(石黒忠篤君) 只今ノ田村サンノ御尋ハ速カニヤルコトガ出來ヌカト云フコトノ、調査ノヤリ方ニ付テノ御尋デゴザイマシタカラ申上ガタノデアリマス、絲原サンノ御尋ノヤウナ趣旨ニ對シマシテハ、此前ニ詳細ニ申上ゲタ積リデ居リマス、本年ノ調査ガ直チニ以テ基準米價ヲ決定スル要素ニ用ヰ得ルヤ否ヤト云フ問題ニ付キマス

シテハ、是ハ自ラ別ニ考ヘテ頂カナケレバニモ申上ゲマシタガ、四月カラノ基準米價ニ對シマスル準備ト云フモノハ四月ニハ相

當進ンデ居ル、之ヲ一、二箇月前若クハ四箇月前ニ週リマジテ記帳ヲ致サセテ、サウシテ十一月ニ終ツテ、ソレヲ取纏メテ其結果

ガ本年ノ米作ノ生産費トシテ基準ヲ決定スルノ参考ニ用フルニ足ルヤ否ヤト云フコトハ、之ニ付テハ可成リ私共ハ心配ヲ有ツテ居ル、出來ルダケ御用ガ出來ルヤウニシタ

アリ又茲ニ頂戴シテアル書類ニアルヤウニ、其筋ノ「オーソリチー」ノ人ヲ集メテ、サウシテソレノ其調査ノ項目ニ付テ御論議ニナック結果、サウ云フ調査ヲシテ此家計費ト生産費ノ調トシヤウト云フコトヲ念シ念ヲ入レテ極ツタノデアリマスガ、之ニ反ソレカラモウツハスルコトハ出來タノデアリマス、故ニ出來上ガリマシタ上デ之ヲ待ツ外ハナカラウ、斯ウ考ヘテ居リマス、御用ヒニナリマス考デゴザイマス……ソレガ調査ガ出來上リマシタナラバ、ソレハ矢張リ

○委員長(伯爵堀田正恒君) 此米價ノ基準ニナル三ツノ項目ノ中デ其家計費トソレカラ生産費ノ調ニ付テハ大臣始メ政府委員カラ度ミ御話ガアリ又茲ニ頂戴シテアル書類ニアルヤウニ、其筋ノ「オーソリチー」ノ人ヲ集メテ、サウシテソレノ其調査ノ項目ニ付テ御論議ニナック結果、サウ云フ調査ヲシテ此家計費ト生産費ノ調トシヤウト云フコトヲ念シ念ヲ入レテ極ツタノデアリマスガ、之ニ反ソレカラモウツハスルコトハ出來タノデアリマス、故ニ出來上ガリマシタ上デ之ヲ待ツ外ハナカラウ、斯ウ考ヘテ居リマス、御用ヒニナリマス考デゴザイマス……ソレガ調査ガ出來上リマシタナラバ、ソレハ矢張リ

○委員長(伯爵堀田正恒君) 是デ休憩イタムテ、ソレヲ續ケテヤッテ、サウシテ或ル品物ヲ附加ヘテ今日マデヤッテ居ラレル、斯ウ云フ譯ダラウト思フノデス、ソレガ果シテ此外ノ二ツノモノヲ極メラル時ノヤウニ、大勢ノ「エキスパート」ノ人ヲ寄セテ論議セラレタナラバ、其調査ノ方法ハドウモ拙イモウ少シ斯ウ改良シタラ宜カラウ、或ハ斯ウ云フ品物モ中ヘ入レタラ宜カラウト云フヤウナ論モ出ルノカ知レナイ、出ナイカモ知レマセヌガ、分ラナイ、ソコデ私ハ此日本銀行ノ調査ト云フモノハ、ドウ云フ方法ニ依テ、ドウ云フヤウナ按排ニシテ今日マデ來テ居ルカト云フコトヲ、若シ政府當局ガ御承知ナラバ伺テ見タイト思フノデアリマスシ、ソレカラモウツソレニ付加ヘテ私ハチヨット申上ゲタイノハ、此長イ統計ヲ取ル時ニ、長イ間ノ統計ヲ取ルノガ宜イ、斯ウ云フコトヲ説明ニモアルシ、又口カラ聽イテ居ルノデスガ、私ハ此世ノ中ノ變遷ガ非常ニ烈シイ場合ニハ長イ統計ヲ取ルト云フコトハ果シテ適當カ、不適當カト云フコトヲ私ハ疑テ居ル、此世界大戰ノ如キ非常ナルコトニ依テ、全ク經濟組織カラ思想モ

變ツテ居リマスガ、非常ナ大變化ヲ起シテ居ル際ニ、三十三年ト云フ昔カラノ統計ヲズ

午後零時十二分休憩 午後一時四十三分開會

○橋本圭三郎君 此米價ノ基準ニナル三ツノ項目ノ中デ其家計費トソレカラ生産費ノ調ニ付テハ大臣始メ政府委員カラ度ミ御話

ソレヲ續ケテヤッテ、サウシテ或ル品物ヲ附加ヘテ今日マデヤッテ居ラレル、斯ウ云フ譯ダラウト思フノデス、ソレガ果シテ此外ノ二ツノモノヲ極メラル時ノヤウニ、大勢ノ「エキスパート」ノ人ヲ寄セテ論議セラレタナラバ、其調査ノ方法ハドウモ拙イモウ少シ斯ウ改良シタラ宜カラウ、或ハ斯ウ云フ品物モ中ヘ入レタラ宜カラウト云フヤウナ論モ出ルノカ知レナイ、出ナイカモ知レマセヌガ、分ラナイ、ソコデ私ハ此日本銀行ノ調査ト云フモノハ、ドウ云フ方法ニ依テ、ドウ云フヤウナ按排ニシテ今日マデ來テ居ルカト云フコトヲ、若シ政府當局ガ御承知ナラバ伺テ見タイト思フノデアリマスシ、ソレカラモウツソレニ付加ヘテ私ハチヨット申上ゲタイノハ、此長イ統計ヲ取ル時ニ、長イ間ノ統計ヲ取ルノガ宜イ、斯ウ云フコトヲ説明ニモアルシ、又口カラ聽イテ居ルノデスガ、私ハ此世ノ中ノ變遷ガ非常ニ烈シイ場合ニハ長イ統計ヲ取ルト云フコトハ果シテ適當カ、不適當カト云フコトヲ私ハ疑テ居ル、此世界大戰ノ如キ非常ナルコトニ依テ、全ク經濟組織カラ思想モ

適當トスルカ、或ハ大戰後ノ所カラズ、ト統計ヲ取テ來タ方ガ却テ正シイ統計ガ出ルノデアリマス、是ハ私ハ此米穀調査會ノ時分カラ其考ヲ私ハ持テ居ッテ、今日マデ誰モ其疑點ニ付テ疑ヲ解イテ吳レル人ガ今マデナインデアリマスカラ、一ツ政府委員ニモ伺ヒ、又同僚ノ各位ニモ好イ御話ガアッタナラバ、私ハ伺テ見タイト斯ウ思フノデアリマス

六品ヲ割リマシテ、新シク硫酸安母尼亞、
牛肉、毛織絲、羅紗、鉛、苛性曹達ノ六品
ヲ加ヘタコトニナ、テ居リマス、左様デゴザ
イマスカラ、三十三年以後ズト繼續イタシ
テ居リマス、五十六種ノモノノ中、大正十
四年六月以後ハ六品種ダケ變、テ居リマス
ケレドモ、是ハ商品トシテノドウモ重要度
ニ依リマシテ換ヘタモノデゴザイマシテ、
其點ダケハ繼續セヌノハ遺憾デゴザイマス
ケレドモ、先ヅ大體ハ適當ナモノデヤナイ
カト云フ風ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ調
査ノ方法ハソレ以上ニ詳シク私ハ承知イタ
シテ居リマセヌデスガ、長イ年月ヲ取ッタ方
ガ宜カラウト申シマスルコトハ、物價指數
米價指數ヲ其儘持ンテ來タノデハゴザイマ
セヌ、物價指數ノ總平均デ米價指數ヲ割リ
マンテ、結局物價指數一般ノ動キ詰リ一般
物價ノ共通價格變動ノ原因ヲ除キマシテ、
サウシテ米獨特ノ性質ニ基ク變化ノミヲ現
スヤウニ致シマシタノガ、物價指數總平均
デ米價指數ヲ割リマシタモノデスカラ、其
米獨特ノ性質ニ基キマシデ、明治三十三年
以來動キマシタ米ノ價格ノ變動ト云フモノ
ヲ趨勢ニ取リマス點カラ致シマスト、成ダ
ケ長イ方ガ宜カラウト、斯ウ云フ風ニ是迄

尙ホ耳話ノヤウニ其他適當ナル物價指數調
デモアレバ、ソレニ依ニ夕方ガ宜イコトハ勿
ケレドモ、例ヘバ商工省デ調ベテ見マシタ
物價指數調ノヤウナモノハ、昭和四年ノ十
二月ノ價格ヲ基礎トシテ算出ハシテ居リマ
スルガ、是デハ極メテ短クテ今ノヤウナ趨
勢ヲ取ルニハ不便デゴザイマス、此商工省
ノ調査アタリハ品目カラ申シマスルト百品
種ニモ上リマスシ、ソレカラ全國ノ調査地
ト致シマシテモ十三都市ニ瓦ルモノデアリ
マシテ、比較的宜シクヤッテ居ルヤウデアリ
マスケレドモ、如何トモ年限ガ短イ憾ガゴ
ザイマス、又東洋經濟新報社ノ東京卸賣物
價指數ノ調ガゴザイマスケレドモ、是ハ大
正二年ノ一月末日ノ價格ヲ基礎トシテ算出
イタシテ居リマス、是ハ六十八品種デアリ
マスケレドモ、是モマダ其趨勢ヲ取リマス
ノニハ短イト云フ話デアリマシテ、ドウモ
適當セヌヤウデアリマス、其外「ダイヤモンド
」社ノ調べデゴザイマストカ、大阪朝日新聞
ノ方ガ宜カラウ、デ米價格ガ一般物價ニ比
較シテドウデアルカト云フ趨勢ヲ見ルノニ

ハ、日本銀行ノ調査デ宜シクハナイカ、斯
ウ云フコトニ考ヘタ譯デゴザイマス、尙ホ
日本銀行デ調査シマス、物價指數ノ調査方
法ノ細カイコトハ、ドウモ能ク承知イタシ
テ居リマセヌノデ申上ゲ兼ネマスデゴザイ
マス

調ベルノニ誰ノ所へ行テ調ベルノカ、ドウシテ知ルノカソレモチヨトモ分ラヌノダカラシテ、サウ云フ事柄ニ付テ、年處モ經テ居リマスカラ……、三十三年ノ時カラ隨分時モ經テ居テ居ルノダカラシテ、或ハ變タ人ガ考ヘタナラバモウチトスウシタラ宜カラウトカ、ア、シタラ宜カラウト云フヤウナ考ガ浮バヌトモ言ハレナイ、何デモサウデスガ元一遍決タモノハ、最早誰モ神聖ナモノトシテソレニ付テ論及スル人ハナイノデスカラ、ソコデ私一つノ希望ハ、能ク日本銀行ノ人トデモ御會見ニナッテ、ドウ云フ方法ニ依テドウシテヤッテ居ルカ、其方法ナルモノガ今日ノ所ニ於テハ完全無缺ノモノデアルカドウカト云フコトヲ、究メテ欲シイノデス、我ミノ代表者トシテ……、サウ云フ私ノ私ハ希望ヲ持テ居ルノデス

○男爵今枝道規君 チヨット政府ノ御方ニ伺ヒマスガ、是ハ参考トシテ伺フノデゴザイマスガ、此朝鮮ニ於ケル米穀ノ數ヲ調査シマスニ付テハ……イヤ間違ヒマシタ、朝鮮人ノ食べテ居リマス粟ト云フモノニ付テ考慮ニ入レナケレバナラスト思ヒマスガ、今粟ハ、聞キマス所ニ依ルト朝鮮人ガ全部ノ人ガ食ハヌノハ勿論デアリマスガ、食スル人モ僅カノヤウニモ聞イテ居リマスガ、

併シ政府ニハ、此粟ヲ食べテ居ル人ハ米ヲ食ハヌ、米ヲ食フ人ハ粟ヲ食ハヌト云フコトモ言ハレテ居ルヤウデアリマス、ソコイラノ事情ハドウデゴザイマスカ、私知リマヌカラ、一ツ御知ラセヨ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(殖田俊吉君) 今枝男爵ノ御尋ねニ御答ヲ申上ゲマスガ、御詫ノ通リデアリマシテ、朝鮮ニ於キマシテハ内地ト異リマシテ、栗ト米ト同時ニ混食イタス風習ハゴザイマセヌサウデアリマシテ、大體粟ヲ食ベマス地方ト、米ヲ食べマス地方トハ、截然ト申シテモ宜イ位ニハギリ分レテ居リマスノデ、ソレハ詰リ米ノ出來マス地方ハ米ヲ食べテ居リマスシ、米ノ出來マセヌ栗ノミ出來マス地方ハ自然栗ヲ食べル習慣ガ付イタモノト思ハレマス、大體南ノ方ニ於キマシテハ……京城ヲ中心ト致シマシテ、

大體七百万石内外ト御承ナインデスカラ、ソコデ私一つノ希望ハ、能ク日本銀行ノ人トデモ御會見ニナッテ、ドウ云フ方法ニ依テドウシテヤッテ居ルカ、其方法ナルモノガ今日ノ所ニ於テハ完全無缺ノモノデアルカドウカト云フコトヲ、究メテ欲シイノデス、我ミノ代表者トシテ……、サウ云フ私ノ私ハ希望ヲ持テ居ルノデス

○男爵今枝道規君 チヨット政府ノ御方ニ伺ヒマスガ、是ハ参考トシテ伺フノデゴザイマスガ、此朝鮮ニ於ケル米穀ノ數ヲ調査シマスニ付テハ……イヤ間違ヒマシタ、朝鮮人ノ食べテ居リマス粟ト云フモノニ付テ考慮ニ入レナケレバナラスト思ヒマスガ、今粟ハ、聞キマス所ニ依ルト朝鮮人ガ全部ノ人ガ食ハヌノハ勿論デアリマスガ、食スル人モ僅カノヤウニモ聞イテ居リマスガ、

アリマス、栗ノ消費量モ相當ニ多イノデアリマシテ、先日御手許ニ差出シマシタ此調査書ニモ掲ゲテ置キマシタノデアリマスガ、最近大正十四年カラノ數字ヲ掲ゲテ置キマシタノデアリマスガ、大體消費シマス食ハヌ、米ヲ食フ人ハ粟ヲ食ハヌト云フコトモ言ハレテ居ルヤウデゴザイマス、マダ短イ間間ニ減リマシタノデゴザイマス、マダ短イ間ニ減リマシタノデゴザイマスカラ、今後ノコトヲ罩メテノハギリシタコトハ申上ゲラレマセヌノデゴザイマスガ、昨年ノ十一月カラ今年ノ二月マデ四箇月間ニ朝鮮ニ粟ノ這入リマシタコトニ相成テ居リマス、是ハ少シ計算ノ基礎ヲ異ニ致シマスノデ、粟モ米モ全然同じ基礎ニ立テ御覽ヲ願フニハ、少シ數字ガ不適當デゴザイマスガ、大體サウ云フコトニ相成テ居ルノデゴザイマス、デゴザイマスカラ栗ヲ用ヒマス程度ハ可ナリ高イノデアリマス、サウ致シマシテ、栗モ米モ全然同じ基础ニ立テ御覽ヲ願フニハ、少シ數字ガ不適當デゴザイマスガ、大體サウ云フコトニ相成テ居ルノデゴザイマス、デゴザイマスカラ栗ヲ用ヒマス程度ハ可ナリ高イノデアリマス、サウ致シマシテ、此栗ハ朝鮮ニ七十萬石ノ栗ガ全部出來マスカト申シマスト、我ミハ今年ノ朝鮮米ノ内地移入ガ實ハ八百萬石内外ト考ヘテ居リマスガ、或ハ之ヲ割リマシテ餘程内地ヘ這入ル數量ヲ減少スル力ヲ持ツコトニナリハセヌカト、斯ウ實ハ密力ニ考ヘテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、唯

栗へ御承知ノ如ク大變値段ガ安イ上ニ持テ参リマシテ、聞ク所ニ依リマスレバ、非常ニ其炊ギマスト殖エマスサウデアリマス、此爲ニ朝鮮人ハナカク此栗ヲ棄テマセヌノデアリマス、是ハ經濟上ノ理由デアリマス、ソレカラ先程申上ゲマシタヤウニ、嗜好ノ關係ガアッテ、永年ノ習慣デアリマスルノデ俄ニ之ヲ變ヘルト云フコトハ非常ニ困難デアラウト考ヘルノデアリマス、併シ朝鮮總督府ニ於キマシテモ、餘リニ此米ノ方ヘ力ヲ入レ過ギマシテ、詰リ農業ノ指導ノ方針ガ一方ニ遍シタト云フコトハ、内地ニ對シテ非常ニ迷惑ヲカケル嫌ヒガアリマス、ノミナラズ朝鮮自體ト致シマシテモ、朝鮮人ノ殊ニ下層社會ニ於ケル食糧問題ノ解決ト云フコトニ直接ノ利益ヲ與ヘマセヌ

○男爵今枝直規君 只今ノ御話ノ中デ、米ノデアリマス、ドウシテモ是ハ其點カラ考ヘマシテモ、米以外ノ問題ヲ考ヘナケレバナラスト云フコトヲ考ヘ付キマシテ、サウ致シマシテ昭和四年度カラ栗ノ改良増殖ノ獎勵計畫ヲ立テマシタノデアリマス、今ソレヲ朝鮮ノ西北ノ六道ニ付キマシテ實施イタシテ居ルノデアリマスガ、其成績ハ相當ニ見ルベキモノガアル、斯ウ考ヘマシテ更ニ昭和六年度ノ豫算ニ於キマシテハ、此改良増殖ノ獎勵計畫ヲ、栗ノミナラズ麥及大豆ニモ擴張イタシマシテ、之ヲ全鮮ニ普及

イタシタイ、斯ウ云フ考ヲ以チマシテ取敢好ノ關係ガアッテ、永年ノ習慣デアリマスルノデ俄ニ之ヲ變ヘルト云フコトハ非常ニ困難デアラウト考ヘルノデアリマス、此計畫ハ將來十二箇年ヲ以テ完成イタシマシテ、補助費ヲ計上イタシマスコトガ三百六十三万八千圓ニ上ル豫定デアリマス、若シ之ガ出來アルトカ、或ハ大豆デアルトカ、或ハ麥デアルトカノ各方面ニ瓦リマシテ、農業上ノ發達ヲ來シ、朝鮮人自體ノ食糧問題ヲ解決スルノミナラズ、米ノ關係ガ兎角内地トノ關係ニ於キマシテ問題ヲ惹起スルト云フ點ヲ幾ラカ緩和スルコトガデキルデハナイカ、斯ウ考ヘテ居リマス

○政府委員(殖田俊吉君) 其點デゴザイマスガ、栗ガ從來常ニ問題ニナッテ居リマスノデ、統計ノ上カラ致シマスレバ、朝鮮ノ農業ノ擴張ノ豫算ニ於キマシテハ、此改良増殖ノ獎勵計畫ヲ立テマシタノデアリマス、其理由ガドウモハッキリ致シマセヌノデアリマス、或ハ此統計ノ調査ニ付キマシテ多少不完全ナ點ガアル結果デハナイカト云フヤウナコトモ考ヘテ見マシタノデアリマスガ、未ダニ其本當ノ原因ガ分リマセヌノデアリマス、昨年十月ニ施行イタシマシタ國勢調査ニ依リマスレバ、朝鮮ノ總人口ガ二千五百七千人ト云フコトニナッテ居リマスノデ、此數字ヲ用キマシテ今年度ノ米ノ消費ノ見込デアリマスル千百一十九万三千石ト云フモノヲ割ッテ見マスルト云フト、一人當リガ五斗三升五合ト云フ數字ニナリマスヤウニ記憶イタシテ居リマス、併シ是ハ只今栗ノ問題デ申上ゲマシタ通リニ、大體半分或ハ六割グライカモ存ジマセヌガ、其程度ノ朝鮮人ガ米ヲ食ヒマシテ、後ハ栗ヲ食ヒマスト云フコトニナリマスルト、詰リ二千百万ト云フ人口ガ米ヲ食フ人口トシテハ多過ギルノデアリマス、之ヲ適當ニ減ラント比ベルト大變少イヤウデアリマスガ、是ハ色々芋トカソンナ物ヲ混食スル爲ニ、斯ウ云フ少イコトニナッテ居ルノデアリマスル、或ハ青イ麥ノ穗ヲマダ實リマセヌ中ニ出マシテ草木ヲ採取シテ食ッテ凌イデ居ル、或ハ青イ麥ノ穗ヲマダ實リマセヌ中ニ振ギ取ッテ食ベルト云フ狀態デアリマスカラ、無論此米ノ消費ガズット内地ヨリ開いて居リマスコトハ、是ハ已ムヲ得ナイコト考ヘテ居リマス、併ナガラ段々朝鮮モ各方面トモ進歩ヲ致シマスノデアリマスカラ、斯レバ一人當リノ米ノ消費量ハ相當ニ增加シテ居リマスノデアリマス、極ク大雜把ニ申シマスノヲ聽キマスト云フト、大體栗ハ加イタシマスノデアリマス、極ク大雜把ニナル、ソコデ栗ノ一年ノ消費量デアリマス

○男爵今枝直規君 本年ノヤウニ米ノ澤山スガ、栗ガ從來常ニ問題ニナッテ居リマスノデ、統計ノ上カラ致シマスレバ、朝鮮ノ農業ノ擴張ノ豫算ニ於キマシテハ、此改良増殖ノ獎勵計畫ヲ立テマシタノデアリマス、其理由ガドウモハッキリ致シマセヌノデアリマス、或ハ此統計ノ調査ニ付キマシテ多少不完全ナ點ガアル結果デハナイカト云フヤウナコトモ考ヘテ見マシタノデアリマスガ、未ダニ其本當ノ原因ガ分リマセヌノデアリマス、昨年十月ニ施行イタシマシタ國勢調査ニ依リマスレバ、朝鮮ノ總人口ガ二千五百七千人ト云フコトニナリマス、之ヲ二千百万人ノ人口ニ割當テマスレバ、凡ソ一石ナニガシト云フコトニナリマシテ、大シテ内地トノ相違ガナイ、無論内地ヨリ消費ノ量ガ少ナイノデアリマスガ、是ハ生活程度ノ餘程低イ爲デアラウト思ヒマス、固ヨリ甘諸デアルトカ、玉黍蜀デアルトカ其他各種ノ農產物ヲ消費イタシマスシ、御承知ノ如ク春先ニナリマスレバ朝鮮ノ下層民ハ殆ンド食物ガナイ、山野ニ出マシテ草木ヲ採取シテ食ッテ凌イデ居ル、或ハ青イ麥ノ穗ヲマダ實リマセヌ中ニ振ギ取ッテ食ベルト云フ狀態デアリマスカラ、無論此米ノ消費ガズット内地ヨリ開いて居リマスコトハ、是ハ已ムヲ得ナイコト考ヘテ居リマス、併ナガラ段々朝鮮モ各方面トモ進歩ヲ致シマスノデアリマスカラ、斯レバ一人當リノ米ノ消費量ハ相當ニ增加シテ居リマスノデアリマス、極ク大雜把ニ申シマスノヲ聽キマスト云フト、大體栗ハ加イタシマスノデアリマス、極ク大雜把ニナル、ソコデ栗ノ一年ノ消費量デアリマス

出來マシタ時ハ、栗ハ澤山出來ナイ方ガ宜
イト云フコトニナル、又サモナイ時ハ栗ハ
ニナリマスガ、サウ致シマスト云フト此米
ノ自給ヲ適當ニスルニハ、ドウシテモ粟ト
米ト兩方食スルヤウニセナケレバナラヌ、
サウ云フ習慣ヲ當局ニ於テ十分付ケラレル
ヤウニナリマスデゴザイマスカ、ドウ云フ
御考デゴザイマスカ、ソレヲ伺ヒタイ

○政府委員(殖田俊吉君) 其御話ハ非常ニ

難シイ問題デアリマシテ、朝鮮ノ社會生活、

即チ生活ノ各方面ニ瓦リマシテ餘程慎重ニ

考慮ヲ要スルコトデアラウト存ジマス、米

ヲ食べル習慣ヲ普及イタシマスルコトハ或

ハ出來マシテモ、矢張リ栗ヲ食べマスヨリ

モ生活ヲ向上サセルノデゴザイマスカラ、

是ハ俄カニハナカナカ困難ナ問題デアラウ

ト存ジマス、併ナガラ矢張リ朝鮮ニ於キマ

シテモ内地トノ關係及ビ朝鮮自體ノ食糧問

題カラ致シマシテ、是ハ餘程考ヘテ見ナケ

バナラヌコトデアリマシテ、例ヘバ栗ヲ

食べマスノハ宜イト致シマシテ、ソレヲ滿

洲ノ栗ニ仰グト云フコトハ此乏シキ朝鮮人

ガ食糧ヲ外國ニ依頼スルト云フ關係ニナリ

マスノデ、朝鮮人自體トシテモ可成リノ問

題デアラウト存ジマス、デアリマスルカラ、

澤山出來ナケレバナラヌト云フヤウナコト

ノ自給ヲ適當ニスルニハ、ドウシテモ粟ト

米ト兩方食スルヤウニセナケレバナラヌ、

サウ云フ習慣ヲ當局ニ於テ十分付ケラレル

ヤウニナリマスデゴザイマスカ、ドウ云フ

御考デゴザイマスカ、ソレヲ伺ヒタイ

○上山満之進君 私、チョット全ク別ノ問題

ヲ伺ッテ見タイ、直接法律案ニ關係ノアル問

題デナシニ朝鮮ノ米ト云フコトニ付テドウ

云フ風ニ將來御考ヘニナッテ居リマスカト

ノ食糧政策ノ上ニ餘程大事ナコトデアル、

必要ナコトデアルト云フ考ヘヲ私ハ持ッテ

居ル、蓋シ多數ノ人モサウ云フ風ニ思ッテ

行ノ跡ヲ見ルト云フト、今年ハ無論別ノ問

題デアリマスガ、年々非常ニ殺到スル、其

中ニハ朝鮮米ニ移入關稅デモ掛ケヤウト

ナルペクナラバ朝鮮ニ於テモ自給自足デ行

キタイ、栗等ノ如キモナルペク朝鮮デ作ル

ヤウニシタイ、而シテ又米ノ如キモ何モ内

地ヘ送リ出スダケガ能デナイ、朝鮮人ノ食

糧ト云フコトヲ先ツ主眼ニ置イテサウシテ

考テ行カナケレバナルマイデハナイカト云

フヤウナ風ニ考ヘマシテ、農業政策ニ付テ

相當轉換期ニ際シテ居ルノデハナイカト考

ヘテ居リマスヤウナ次第デゴザイマス、但

シ今申上ゲマスヤウナ各般ノ狀況ガマダ纏

リマセヌノデ、今此處ニ於キマシテ的確ニ

斯ウ云フ方針ヲ確立シタト斯ウ申上ゲル迄

ニ至テ居リマセヌノハ甚ダ遺憾デアリマ

ス

カリ前ノ問題デアリマシタカ、十年バ

地ノ米ト比較シテ四圓位デアッタモノガ、

今日ハ確カニ圓位ノ値開キニナッテ居ルト

思フ、サウ云フ風ニ段々接近シテ來ル、ソ

ウト云フヤウナ考ヘハアリマセヌガ、ソレ

ハ中ニ重大ナ問題デ、一部ノ論者ガ言フ如

ク移入税ヲ掛ケレバ何デモナイ話デアリマ

スケレドモ、サウハ參ラヌシ、ウッチヤッテ置

クト誠ニ始末ガ惡イシ何トモ考ヘガナイノ

デアリマス、一時ニ殺到スルノハ非常ニ困

ルノデアリマスガ、一時ニ殺到スルノミデ

ナクシテ總體分量ノ這入リ方ガ多イノデア

リマス、一年間ニ這入ル分量ハ今マデハ宜

シイガ、一時ニ殺到スルノデハ困ルト云フ

ダケデヤ私ノ疑問ハ解決シナイノデアリマ

ス、サウ云フ風ニ私ノ何モ考ガアリマセヌ

位ナコトデアリマスカラ、全ク知ラナイン

○政府委員(殖田俊吉君) 只今上山委員ノ御尋ニナリマシタコトハ非常ニ實ハ重大ナルコトデアリマシテ、私ト致シマシテハ政府ノ方針ヲ申上ゲルノモドウカト思ヒマスガ、極ク私共ノ考ヘテ居リマスコトダケト致シマシテ御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス、只今御話ノ如ク朝鮮米ガ内地ニ這入リマスヤウニナリマシタノハ、朝鮮米ノ聲價ガ段段上ガッテ來タト云フコトハ無論第一ノ原因ダラウト存ジマス、朝鮮ニ於キマシテモ米質、米ノ質ハ別段大イシタ變ハリハ致サヌト思ヒマスガ、調製等ニ於キマシテ非常ナル改良ヲ致シマシテ立派ナ米ニナリマシテ、殊ニ内地ハ乾燥等ニ於キマシテ非常ナル改良ヲ致シノ今迄朝鮮米ト云フモノヲ餘リ理解シナカツタ方ミノ間ニモ朝鮮米ト云フモノヲ相當ニ消化スルヤウニ相成タト云フコトハ斯ハマア一番大キナ原因デアラウト思ヒマス、ソレカラ又御承知ノ如ク朝鮮ニハ水利組合ト云フヤウナモノガ可成リ發達イタシテ居ルコトガアレバ、未定案デ宜シイノデシタラ宜カラウト云フコトヲ御考ヘニナックスカラ、参考ノ爲ニ伺テ私モ將來研究シテ見タイ、斯ウ思テ居ルノデアリマス

テ居リマス、是ハ詰リ大地主デゴザイマシテ、米ヲ纏メテ有^フテ居リマスノデアリマス、ソレラガ内地ノ如ク小サイ農民カラ少シヅツ、少シヅツ出テ來ルト云フコトデナシニ、纏メテ何万石或ハ何十万石ト云フ米ガ大キナ商品トシテ内地ニ賣ラレルト云フコトガ、可成リ朝鮮米ト云フモノヲ内地ノ市場ニ於テ重カラシムル一つノ又原因デアラウト思ヒマス、ソレカラ又近年此朝鮮人ガ水利事業ノ改良發達ト共ニ此農事改良ニ付キマシテモ、殊ニ此肥料ヲ使ヒマスコトガ非常ニ増加イタシテ參リマシテ、私此處ニ統計ヲ持^フテ居リマスルガ、大正十三年ノ價格ニ致シマシテ六百五六十万圓位ノ肥料ヲ使^フテ居^タモノガ、是ハ販賣肥料デゴザイマス、販賣肥料ヲ使^フテ居リマシタモノガ、昭和三年ニ於テハ千九百六十萬圓ニモ上ル多額ノ肥料ヲ使^フテ居ル、一戸當リノ消費量ガ二圓ナニガンデ^{アッタ}モノガ七圓ニモナ^ッテ居ル、斯ウ云フコトガ朝鮮ノ產米ヲ非常ニ増加セシメマシタ大キナ原因デアラタト申シナガラマダマダ非常ニ不完全デア知ノ如ク朝鮮デ以テ水利事業ノ發達ヲ致シウト存ジマス、今年ノヤウナ豐作ハ是ハモリマスノデ、雨ガ多ク^テ水量ガ豊富デアリ

マスレバ米ノ出來ナイ所モ全部米ガ實ル、從^フテ非常ニ一時ニ米ガ澤山出來ル、若シ旱リガ續キマシテ雨ガ不足イタシマス場合ニハ洪水等ハゴザイマセヌケレドモ、是ハ一齊ニ田地ガ乾キマシテ米ガ出來ナイト斯ウ云フヤウナコトニナ^フテ居リマスルノデ、非常ニ年々不同ガアリマスノデ、今マデ段々殖ヘテ居^フタト言^フテモ急ニ又減ルコトモゴザイマスガ、マア大體ニ於キマシテハ米ハ年々殖ヘテ居リマス、ソレカラ只今上山委員ノ御話ノ如ク、私共モサウ思ヒマスルガ、米ノ値段ガ宜イモノデアリマスカラ、ソレヲ食ヒ餘シマシテ、食ヒ延バシテソレヲ内地ヘ賣ルト云フヤウナ傾向莫無論アルノデアラウト思ヒマスル、詰リ朝鮮ニ於キマシテハ自分達ノ食べル米ノ残^リタモノヲ賣ルト云フヨリモ商品トシテ米ヲ作ルト云フヤウナ傾向ハ可成リ内地ニ較ベマスレバ強イカノヤウニ考へラレマス^ルデアリマス、是等ノコトガ色ニ相集リマシテ、内地ニ於ケル朝鮮米ノ問題ヲ大キクナラシメテ居ルコトデアラウト考ヘテ居リマス、然ラバ斯ウ云フ方針ヲ何時マデモ、斯ウ云フ方針ト申シテ宜シイカドウカ分リマセヌガ、斯ウ云フ狀態ヲ何時マデモ續ケテ行^フテ

ニ小言ヲ言ハレテ、ソレデ何時モ其葛藤ヲ
續ケナガラ此狀態ヲ續ケルト云フコトガ適
當デアルカドウカト云フコトニ考ヘ至リマ
スレバ、無論是ハ何ントカ考ヘナケレバナ
ラヌト云フコトハ明瞭デアルト思ヒマス、
勿論日本全體ヲ通ジマシテ、内地米ノミヲ
以テ供給ガ十分デアルトモ考ヘマセヌノ
デ、其點ニ付キマシテハ朝鮮米ナリ臺灣米
ナリガ其内地ノ缺ヲ補フト云フコトニ付テ
ハ大イニ努力ヲシナケレバナラヌ、ソレガ
又朝鮮ナリ臺灣ナリ、殊ニ朝鮮ノ農業ノ使
命デモアルカノ如クニモ考ヘテ居ルノデア
リマス、併ナガラ是モ時ト場合デアリマシ
テ、内地ガソレホドニマダ要求ヲシナイニ
先立ッテ先走リラシマシテ積極的ニ押賣リ
ヲスル、斯ウ云フコトハドウデアラウカ、
今マデノ例ヘバ產米増殖計畫ノ如キガ必シ
モ左様ナ意味ニ於キマシテ、無用ノコトヲ
シタトハ無論考ヘマセヌ、非常ニ重要ナコ
トデアフテ、殊ニ當時ニ於キマシテハ最モ必
要ト考ヘラレタコトヲ行ウタノデアリマシ
テ、之ヲ今日ニ於テ見マシテモ、現在ノ進
行程度ニ於キマシテ、現在ノ規模ニ於テ之
ヲ實行イタシマスコトハ大イシタ問題デハ
ナイト考ヘテ居リマスケレドモ、併ナガラ
大體ニ於キマシテ此朝鮮ノ農業政策ノ基調

ヲ爲シマストコロノ考へ方ニ付テ餘程反省
ヲシナケレバナラヌ、斯ウ云フコトヲ考へ
テ居ルノデアリマス、從ヒマシテ先程申上
ゲマシタ畠作獎勵ノ如キモ方針ヲ變ヘタト
マデハ申上ゲラレマセヌケレドモ、内地ニ米
ヲ賣ル爲ノ農業政策ヲ變ジテ、朝鮮人ガ自
分達ノ食ベル食糧ノ問題ノ解決ノ爲メノ農
業政策ニ致ス、斯ウ云フヤウナ考ハ多分ニ
含マレテ居ルモノデアリマス、將來ニ於テ
ハドウ致シマシテモ是ハ農林省ト共ニ御相
談申上ゲマシテ、朝鮮ナリ或ハ臺灣ナリモ
加ヘマシテ全體ヲ打ッテ一丸ト致シマシテ、ソレニ
對シテ朝鮮ナリ、臺灣ナリガ何程ノ分擔ヲ
致スカ、斯ウ云フコトヲ決メマシテソレニ
應ジマシテ、朝鮮ナリ、臺灣ノ計畫ヲ立テ
イカト考ヘテ居ル、是ガ適當デハナ
ザイマシタガ、大體現在ノトコロ臺灣ノ人
口ガ既ニ四百五十万、出來マス米ガ一期二
期兩期通ジマシテ大體七百万石見當デアリ
マスノデ、而モ臺灣人ハ朝鮮人ニ比べマシ
テ可成リ澤山ニ米ヲ消費イタシマス、是ハ
民度モ餘程臺灣ノ方ガ發達イタシテ居ル關
係デアラウト思ヒマスガ、ノミナラズ臺灣

ニハ砂糖ト申シマスル非常ニ有力ナ米ノ競
争者ガゴザイマスカラ米ノミニ偏スルト云
フコトハ万ナカラウト存ジマス、從ヒマシ
テ蓬萊米ガ今後ト雖モドン～朝鮮米ノ如
ク增加イタシマシテ内地ヲ魯威スルト云フ
コトハ、先ヅソソナニ考ヘナクテモ宜カラ
ウカト、斯ウ考ヘテ居リマスカラ、先ヅ臺灣
ノ問題ハ其程度ニ考ヘテ居ルノデアリマス
ガ、朝鮮問題ハ先程モ御話ノ如ク是ハ數量
カラ致シマシテモ、又朝鮮人全體ノ問題カ
ラ致シマシテモ非常ニ大キナ問題デアリマ
スノデ、米穀調査會或ハ帝國農會ノ方ミノ
御話或ハ農林省等ノ御考或ハ又貴衆兩院ニ
於ケル皆サン方ノ御考等モ伺、テ居リマス
ノデ、相當ニ重大ナ問題トシテ是ハ扱ハナ
テ行キタイト考ヘテ居ル、是ガ適當デハナ
シテ居ルヤウナ次第ゴザイマ
ハ良クアルマイ、能ク帝國全體ノ利害關係ヲ
考察イタシマシテ、サウシテ最モ調和ノ取レ
タル政策ヲ樹デル必要ガアル、斯ウ實ハ考
ヘマシテ、目下、我ミ及バズナガラ調査ヲ進メ
テ居ルヤウナ次第ゴザイマスガ、中々是ハ大
問題デアリマシテ、米ダケノ問題ニ止マラ
ズ朝鮮統治ノ問題或ハ其他各般ノ事項ニ關
係イタシテ居リマスノデ、遽ニコ、ニ斯ウ
云フ政策ヲ執、テ、斯ウヤル積リデアルト云

○子爵土岐章君 只今朝鮮米ノコトニ付テ
ノ御質問ガゴザイマシタカラ、ソレニ關聯
シテ伺、テ見タイノデアリマスガ、先達テ
モ朝鮮米ガ次第ニ…内地ノ日本酒釀造ニ
シテ居ルト云フ點ヲ私申上ゲマシタガ、又
確カ二三日前ノ新聞ト思ヒマシタガ、矢張
リ非常ナ數量ヲ移入サレテ居ルトアッタ、デ
此點ニ付テ私ハ將來、朝鮮米ト云フモノガ、
現在片麻岩ノ崩壊土壤等ガ主タル耕地デア
リマス關係上、日本酒ノ釀造ニ對シ非常ニ
結構デアル、又値段モ安イト云フモノデ、
只今デハ信州ハ勿論、東北地方迄モ釀造米
トシテ這入テ居ルヤウデアリマス、隨テ
只今殖田政府委員カラ御答ガゴザイマシタ
ガ、朝鮮ダケデ、朝鮮トシテノ食糧問題ノ
上カラ考慮シナケレバナラヌト云フ御話デ
ゴザイマシタガ、品物ガ日本酒ノ釀造ニ適
當デアルト云フコトデアルトスルト、自然
ト其用途ノ上カラ私ハドウシテモ値段ガ安
意ヲ致シテ置キマシタノデアリマス、其鮮
米協會ノ方針ト致シマシテ、從來朝鮮米ガ
來ルノハ、マア差支ナイケレドモ、併ナガ
ラソレガ大キク纏テ而モ大キク中央市場
ニ這入り、從テ米價ヲ決定スル原因トシテ

○政府委員(殖田後吉君) 御尋ネノコトニ
付キマシテ、實ハ私共耳ニハ致シテ居リマ
シタガドノ位這入リマシテ、ドウナッテ居
カト云フコトハ實ハ未ダハッキリ致シテ居
リマセヌ、先程上山委員ノ御話ニモゴザイ
マシタガ、從來朝鮮ニ於キマシテハ鮮米協
會ナルモノヲ當業者ノ間デ造リマシテ、サ
ウシテソレガ東京大阪…東京ニ先づ本據
ヲ置イテ、大阪ニモ本據ヲ置キマシテ、此
頃ハ名古屋ニモ支所ミタイナモノヲ置キマ
シテ、サウシテ内地トノ取引ヲ斡旋イタシ
テ居リマスノデ、先程御話ノ何處カノ内務
部長ガ斡旋ヲシタト云フコトハ私モ噂ヲ耳
ニ致シテ居リマスガ、恐ラク此鮮米協會ノ
能ク殖民地デハアルコトデアリマスガ、役
員ヲ致シテ居リマシテ、ソレガ内地ニ參、タ
節柄はハドウモ餘り面白クナイコトデアリ
モノデハナイカト考ヘテ居リマス、併シ時
マスノデ、噂ヲ耳ニ致シマシテ然ルベク注
意ヲ致シテ置キマシタノデアリマス、其鮮
米協會ノ方針ト致シマシテ、從來朝鮮米ガ
來ルノハ、マア差支ナイケレドモ、併ナガ
ラソレガ大キク纏テ而モ大キク中央市場
ニ這入り、從テ米價ヲ決定スル原因トシテ

ハ數量以上ニ大キナ力ヲ持ツ、是ガ宜シク
ナイト云フコトモ世間デ申サレマスルシ、
又朝鮮ノ方ニモソレヲ考ヘマシテ、鮮米協
會トシテモ成ベク田舎ノ方ニ御承知ノ如
ク東北ノ如キ或ハ關東カラ信州或ハ北陸方
面ト云フヤウナ田舎ノ餘リ目立タナイ所ニ
朝鮮米ヲ賣込ンデ行ク、又酒造米ノ如キ極
ク特殊ナ米デアリマスルト、全體ノ米價問
題ニ影響スルコトガ多クアリマセヌノデ成
ベクサウ云フ方面ヲ選ンデ米ノ賣込ヲ致シ
タト云フヤウナ事實ハアラウト考ヘルノデ
ゴザイマス、勿論朝鮮自體ト致シマスレバ、
朝鮮米ノ聲價ヲ揚ゲマシテサウシテ酒造米
等ニ用ヒラレルト云フコトニナレバソレハ
非常ニ喜バシイコトデアリマスルケレド
モ、其爲ニ内地ノ米穀生産者ヲ苦メルト云
フコトハ餘ホド注意シナケレバナラヌコト
デアリマスル、勿論朝鮮米ノ方ガ酒造米ト
シテハ内地米ヨリ適當デアルト云フコトデ
アリマスレバ、ソレハ朝鮮デ引受ケルモ宜
シウゴザイマスガ、其代リニ其他ノ食糧米
等トハ多少之ヲ加減スルトカ云フコトニ致
サナケレバナラヌト考ヘルノデゴザイマ
ス、朝鮮總督府邊ニ於キマシテハ、從來ノ
方針モゴザイマスノデ、米穀問題ニ付キマ
シテハ強イ意見ガ相當ニゴザイマスノデア

ク東北ノ如キ或ハ關東カラ信州或ハ北陸方
面ト云フヤウナ田舎ノ餘リ目立タナイ所ニ
朝鮮米ヲ賣込ンデ行ク、又酒造米ノ如キ極
ク特殊ナ米デアリマスルト、全體ノ米價問
題ニ影響スルコトガ多クアリマセヌノデ成
ベクサウ云フ方面ヲ選ンデ米ノ賣込ヲ致シ
タト云フヤウナ事實ハアラウト考ヘルノデ
ゴザイマス、勿論朝鮮自體ト致シマスレバ、
朝鮮米ノ聲價ヲ揚ゲマシテサウシテ酒造米
等ニ用ヒラレルト云フコトニナレバソレハ
非常ニ喜バシイコトデアリマスルケレド
モ、其爲ニ内地ノ米穀生産者ヲ苦メルト云
フコトハ餘ホド注意シナケレバナラヌコト
デアリマスル、勿論朝鮮米ノ方ガ酒造米ト
シテハ内地米ヨリ適當デアルト云フコトデ
アリマスレバ、ソレハ朝鮮デ引受ケルモ宜
シウゴザイマスガ、其代リニ其他ノ食糧米
等トハ多少之ヲ加減スルトカ云フコトニ致
サナケレバナラヌト考ヘルノデゴザイマ
ス、朝鮮總督府邊ニ於キマシテハ、從來ノ
方針モゴザイマスノデ、米穀問題ニ付キマ
シテハ強イ意見ガ相當ニゴザイマスノデア

リマス、併ナガラ拓務省ガ設置サレマシテ、
帝國全體ノ殖民政策ヲ考ヘルト云フコトニ
相成リマスレバ、サウ一部ニ偏シタ意見ノ
點ハ成ルベク圓滿ニ協調主義ヲ以テ實ハ進
ミタイト考ヘテ居リマス、土岐子爵ノ只今
ノ御話ノ如キ、私實ハ甚ダ申譯アリマセヌ
ガ能ク研究シテハ居リマセヌ、今後能ク研
究イタシマシテ適當ナ方策ヲ立テタイト考
ヘテ居リマス

○子爵土岐章君 只今其研究ヲ爲サルト云
フコトデゴザイマスガ、現ニ朝鮮總督府ニ
於テ、京城ニ釀造試驗所ガアリマシタモノ
ヲ最近ニソレラ廢サレタヤウデゴザイマス
ガ、サウ爲サイマスト云フト、若シ私ガ申
上ゲマシタヤウナ研究ヲ爲サルト云フコト
ナラバ、朝鮮ノ釀造研究所ト云フモノヲ復
活爲サルト云フ御考ハ御持チニナリマセヌ
デゴザイマスカ

タノダラウト存ジマス、是ハ財政上ノ關係
トシタト云フコトモ聞イテ居リマスシ、又其
蜀黍ニ對シテハ百斤三十錢ノ關稅デアル所ノ玉
ス、然ルニ高粱ニ對シテハ無稅デアル、此
ヲ分擔サセマスカ、或ハ内地ノ試驗場ニ御
依頼イタシマスカ、其點モ能ク相談ヲ致シ
マシテ考ヘタイト思ヒマス、ドウゾ……
○子爵土岐章君 私ハ只今ノ問題ニ關聯シ
マシテ拓務省當局ニ伺ヒタイノデスガ、只
今丁度食糧問題ノ上カラ、朝鮮ノ平壤ニ亞米
利加ノ資本ニ依ル澱粉會社ガ設立サレル……
慥カ來月カラ工場ノ運轉ヲスルト云フヤウ
ニ聞イテ居リマス、資本ハ慥カ八百万圓
ト云フコトニ承知シテ居リマスガ、若シ斯
様ナ工場ガ朝鮮ニ出來ルト云フコトニナル
ト、先程モ私ガ申上ゲマシタヤウニ、米ハ
申上ゲマシタガ、ドウモ其邊ニ付テノ政策
モ私ハ米穀法ニ對シテ是ハ食糧問題全體力
ラ考ヘナケレバナラヌドラウト云フコトヲ
申上ゲマシタガ、ドウモ其邊ニ付テノ政策
根本ニ於テノ御注意ガドウモ十分デナイヤ
ウニ窺ハレマスガ、其點ハ如何デスカ

○政府委員(殖田俊吉君) 御尋ノ點ハ御尤
モデゴザイマスガ、ソレハ亞米利加ノ「コ
ン・プロダクツ・レファイニング」會社ト申
シマスノガ朝鮮ニ工場ヲ造リマシテサウシ
テ「コーンスター」ヲ製造スルト云フ計畫
ノコトデゴザイマス、是ハ實ハ其昭和二年
ノ夏ニ今ノ問題ノ會社ノ代表者ガ朝鮮ニ參
リマシテ、是ハ從來自分ノ所デ作テ居タ
レテ居リマスルガ、私達ノ考トシテハ、假
令關稅ヲ引上ゲテモ、外國ノ資本ニ依テ朝
鮮ニ工業ガアル場合ニハ如何トモシ難イコ
テ居ル、併ナガラ日本ニモ、原料ガアル、

○政府委員(殖田俊吉君) 恐ラク朝鮮ノ釀
造試驗所ヲ止メマシタノハ財政上ノ理由ガ
主デアッタラウト思ヒマス、ソレカラ又内地
デハナカラウカト考ヘマス、デ此點ニ付テ
デ大仕掛ノ澱粉工業ガ發達シタ結果トシ
テ、内地ノ澱粉工業ガ行詰ルコトニナルノ
デ、内地ノ澱粉工業ガ行詰ルコトニナルノ
ニナルコトデアリマセウシ、又延イテハ彼處
デ大仕掛ノ澱粉工業ガ發達シタ結果トシ
テ、内地ノ澱粉工業ガ行詰ルコトニナルノ
ニナルコトデアリマセウシ、又延イテハ彼處
デハナカラウカト考ヘマス、デ此點ニ付テ
デモ醸造ノ試驗ヲチャントヤンテ居リマス
ノデ、斯ウ云フ試驗等ニ付キマシテハ、何
カラ關稅ノ引上ト云フヤウナコトガ提案サ
今期議會ニモ請願トシテ北海道ノ澱粉業者
デレ居リマスルガ、私達ノ考トシテハ、假
令關稅ヲ引上ゲテモ、外國ノ資本ニ依テ朝
鮮ニ工業ガアル場合ニハ如何トモシ難イコ
テ居ル、併ナガラ日本ニモ、原料ガアル、

タノダラウト存ジマス、是ハ財政上ノ關係
トシタト云フコトモ聞イテ居リマスシ、又其
蜀黍ニ對シテハ百斤三十錢ノ關稅デアル所ノ玉
ス、然ルニ高粱ニ對シテハ無稅デアル、此
ヲ分擔サセマスカ、或ハ内地ノ試驗場ニ御
依頼イタシマスカ、其點モ能ク相談ヲ致シ
マシテ考ヘタイト思ヒマス、ドウゾ……
○子爵土岐章君 私ハ只今ノ問題ニ關聯シ
マシテ拓務省當局ニ伺ヒタイノデスガ、只
今丁度食糧問題ノ上カラ、朝鮮ノ平壤ニ亞米
利加ノ資本ニ依ル澱粉會社ガ設立サレル……
慥カ來月カラ工場ノ運轉ヲスルト云フヤウ
ニ聞イテ居リマス、資本ハ慥カ八百万圓
ト云フコトニ承知シテ居リマスガ、若シ斯
様ナ工場ガ朝鮮ニ出來ルト云フコトニナル
ト、先程モ私ガ申上ゲマシタヤウニ、米ハ
申上ゲマシタガ、ドウモ其邊ニ付テノ政策
モ私ハ米穀法ニ對シテ是ハ食糧問題全體力
ラ考ヘナケレバナラヌドラウト云フコトヲ
申上ゲマシタガ、ドウモ其邊ニ付テノ政策
根本ニ於テノ御注意ガドウモ十分デナイヤ
ウニ窺ハレマスガ、其點ハ如何デスカ

○政府委員(殖田俊吉君) 御尋ノ點ハ御尤
モデゴザイマスガ、ソレハ亞米利加ノ「コ
ン・プロダクツ・レファイニング」會社ト申
シマスノガ朝鮮ニ工場ヲ造リマシテサウシ
テ「コーンスター」ヲ製造スルト云フ計畫
ノコトデゴザイマス、是ハ實ハ其昭和二年
ノ夏ニ今ノ問題ノ會社ノ代表者ガ朝鮮ニ參
リマシテ、是ハ從來自分ノ所デ作テ居タ
レテ居リマスルガ、私達ノ考トシテハ、假
令關稅ヲ引上ゲテモ、外國ノ資本ニ依テ朝
鮮ニ工業ガアル場合ニハ如何トモシ難イコ
テ居ル、併ナガラ日本ニモ、原料ガアル、

殊ニ朝鮮ニハ相當ナ原料ガアルカラ、ソレ
デ一ツ其原料ヲ利用シテソレデ工場ヲ造リ
タイ、斯ウ云フコトヲ申出テ參リマシタノ
デ、朝鮮總督府ハ矢張朝鮮ノ產業ノ開發ニ
ナルト考ヘマシタモノト見エマシテ、之ヲ
歡迎シタ譯デハアリマセヌデアリマセウ
ガ、兎ニ角工場ヲ朝鮮ニ設ケルコトニ贊成
ヲ致シマシタ、初ハ新義州ニ工場ヲ設ケル
ト云フコトヲ申出タノデアリマスルガ、新
義州ハ好マシクナイノデ、之ヲ平壤ニシタ
ラ宜カラウト云フコト迄申シマシテ、サウ
シテ平壤ニ資本金千万圓、四分ノ一拂込濟
ミノ會社ヲ作リマシテ、ソシテ會社ノ名前
ヲチヨット忘レマシタガ、兎ニ角サウ云フ會
社ヲ拵ヘマシテ、ソシテ工場ノ設立ニ著手
イタシマシテ、此昭和六年六七月ヲ以テ工
場が完成イタシマシテ、何レ近ク製品ヲ出
スヤウナコトニナルデアラウト存ジテ居リ
マス、是ハ其後ノ内地ノ經濟界ノ事情、殊
模ノ澤山ノ會社ガヤフテ居ルト云フヤウナ
關係カラ申シマシテ、此大規模ノ有効ナル
モノガ、朝鮮ノ而モ原料ヤ工賃ノ安イ所デ、
仕事ヲ始メルト云フコトハ相當考ヘナケレ
バナラナカフタ問題デアラウト考ヘルノデ

アリマス、併ナガラ出來テシマッタモノデア
リマスルカラ、今更之ヲドウ處分シヤウト
テ、精々實ハ注意ヲ致シテ居ルノデアリマ
スガ、其會社ハ非常ニ我儘デアリマシテ朝
鮮總督府ニ對シテ斯ウ云フコトヲ申出タノ
デアリマス、御話ノ如ク玉蜀黍ヲ先ヅ目標ニ
常ニ安イ、從テ朝鮮ノ玉蜀黍ヲ先ヅ目標ニ
スルケレドモ、若シ是ガ不足スル場合ニハ
直グ御隣リノ滿洲カラ何ボデモ入レルコト
ガ出來ル、併ナガラソレニハ今ノヤウニ關
稅ガ安イコトガ必要デアル、ダカラ此關稅
ヲ引上げテ吳レテハナラヌ、ダカラ自分ハ
工場ヲ拵ヘテ朝鮮ノ爲ニ盡力スルカラ、關
稅ヲ引上げナイト云フコトヲ約束シテ吳レ
ト云フコトヲ申シ出デマシタ、是ハ斷然
一蹴イタシマシタ、將來關稅ノ引上げヲス
ルカモ知レヌ、斯ウ云フコトヲ申シテ居ル
位デアリマス、又片一方ノ原料デアリマスル
チト葡萄糖、「コーン・オイル」ソレカラ
飼料デゴザイマス、此四種類ヲ作ルト申シ
テ居リマス、ソシテ「コーンスター」ハ朝
鮮ト内地ヘ賣リ、葡萄糖ハ支那ト内地ニ賣リ
シテハソンナニ大規模ナモノデナク、小規
模ノ澤山ノ會社ガヤフテ居ルト云フヤウナ
關係カラ申シマシテ、此大規模ノ有効ナル
モノガ、朝鮮ノ而モ原料ヤ工賃ノ安イ所デ、
仕事ヲ始メルト云フコトハ相當考ヘナケレ
バナラナカフタ問題デアラウト考ヘルノデ

反スル譯ニモ參リマセヌノデ、内地ノ御方
針ニ從ヒマシテ朝鮮モ從テ無稅ニナシテ居
ルノデゴザイマス、是ガ唯今「コーンスター」
ナ方面カラ之ニ對スル御注意モアリマシ
テ、精々實ハ注意ヲ致シテ居ルノデゴザイマス、
チ會社ニ利用サレテ居ルノデゴザイマス、
實ハ其處置ニモ多少困シテ居ルヤウナ次第
デアリマス、併シモウ既ニ出來マシタコト
デアリマスノデ、今チヨットドウスルト云フ
コトモ出來兼ネテ居リマスヤウナ次第デ、
御意見モアリマスノデ精々注意イタシマシ
テ今後萬遺憾ナイコトヲ期シタイト思テ
居リマス

○子爵土岐章君 政府當局トシテハ如何ナ
ル製品種類ノモノガ生産サレルカ御承知デ
ゴザイマスカ、其點ヲ伺ヒタイノデアリマス
○政府委員(殖田俊吉君) 會社ノ申シテ居
リマスル所ニ依リマスレバ「コーンスター」
ルカモ知レヌ、斯ウ云フコトヲ申シテ居ル
トト考ヘマス、マダ十分ニ政府當局トシテ
ハ其邊ノ御調查、御研究ガ届イテ居ラヌヤ
ウニ考ヘマスガ、是非其點ハ徹底的ニ御調
べヲ願ヒタイト考ヘマス

○政府委員(殖田俊吉君) 承知イタシマシ
タ

○子爵土岐章君 ソレカラモウ一つ私ハ伺
ヒタイノデアリマスガ、政府當局トシテ米
ノ買上、賣拂ヲ爲ステ御出デニナリマス
ガ、我ガ國トシテ消費團體デアル陸軍當局、
或ハ海軍當局ニ對シテ政府ノ買上ダタ米ヲ
保管轉換ヲスルト云フ風ナコトハナイノデ

ゴザイマセウカ、其點ヲ伺ヒタイノデゴザ
イマス

○政府委員(荷見安君) 私ヨリ申上ゲマス、
此前ニ陸軍ノ方ニモ賣リマシタコトハゴザ

イマス、唯其實リマシタ時ニ政府ハ新米ヲ
買ヒマシタモノヲ直グ賣ルト云フコトガチ
ヨット困難デゴザイマシテ、マア古米ヲ賣リ

マスト云フヤウナ關係デ、陸軍ノ方デハ成
ルタケ新米ヲ買ヒタイト云フノデ、其後話
ガアリマスケレドモ、實行シテ居リマセヌ、
ソレカラ海軍ノ方デモ買ッテモ宜シトイ云
フヤウナ話ガゴザイマシテ、昨年末カラ海
軍省ノ方ト話ハ致シテ居リマスガ、マダ實
現イタシテ居リマセヌ、ソレカラ司法省ノ
方ノ關係デ致シマスト、刑務所ノ方ノ米ハ
殆ド全部輸入制限以來米穀特別會計ノ方カ
ラ賣却イタシテ居リマス

○子爵土岐章君 唯今農林大臣が御見ヘニ
ナリマシタカラ、先程私ガ殖田政府委員ニ
伺ツタコトニ關聯シテモウ一つ伺ツテ置キタ
イト思ヒマス、ソレハ煉乳デアリマスガ、
只今食糧問題ノ上カラ考ヘマシテ、日本ノ
煉乳業者ガ南洋及滿洲方面ニ二三年前カラ
非常ナル輸出ヲシテ居ル、勿論是ハ政府當
局ノ援助其他ニ依テ發展ヲシテ居ルコトト
考ヘマス、然ルニ確カ昭和三年ト思ヒマシタ
ジヤウナモノガ續々起ルト思ヒマスガ、之

ガ、「ネップル・アングロ・イスラム・ミルク・コー
ボレーション」デシタカノ資本ニ依テ、北

海道ノ大日本煉乳株式會社ヲ買收スルト云
フコトノ議ガ起リマシテ、之ニ對シテ當業
者ノ反對ノ結果其相談ハ成立タナカッタ、
然ルニ前申上ゲマシタ如ク南支及ビ南洋方
面ニ對シテ、日本商品ノ發展ニ連レテ、彼
等ノ販路ヲ驅逐スルト云フ、結果、偶ニ日本
内地ノ農業が非常ニ不振デアル、殊ニ北海
道ノ生乳業者ガ不振デアルト云フ、虛ニ乗ジ
マシテ、北海道ニ新タニ工場ヲ立テルト云
フコトガ最近ニナリマシテ現ハレテ來タ、
先ニモ申上ゲマシタヤウニ、亞米利加ノ「コ
ン・プロダクト・コーポレーション」ガ朝鮮
ニ工場ヲ造、タ、今日デハ其工場ハ合法的
ノ手續ヲ取ツテ居ル爲ニ如何トモシ難イト
云フコトニ承リマシタガ、又既ニ今申上ゲ
マシタ同ジヤウナ外國資本ニ依ル所ノ壓迫
ガ起リツ、アルヤウニ私ハ聞イテ居リマス
ガ、是モ政府トシテ今ノ中ニ何等カノ方法
イト思ヒマス、ソレハ煉乳デアリマスガ、
只今食糧問題ノ上カラ考ヘマシテ、日本ノ
煉乳業者ガ南洋及滿洲方面ニ二三年前カラ
非常ナル輸出ヲシテ居ル、勿論是ハ政府當
局ノ援助其他ニ依テ發展ヲシテ居ルコトト
考ヘマス、然ルニ確カ昭和三年ト思ヒマシタ
ジヤウナモノガ續々起ルト思ヒマスガ、之

ニ對シテ何等カ御研究ヲ願フト云フコトガ
最モ必要ト思ヒマスカラ、農林大臣トシテ
其點ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(町田忠治君) 只今土岐子爵ノ
御尋ねノコトハ實ハ衆議院ニ於キマシテ、
木材關稅ノ問題竝ニ人絹ノ關稅ノ問題ガ、
政府ヨリ提案サレマシテ、ソレニ關聯イタ
シマシテ、乳製品及ビ満洲カラ入ッテ來マス
ル「コーン」ノ關稅ノ問題ガ今委員會デ盛ン
ニ意見ヲ交換シテ居ルヤウナ次第デアリマ
ス、煉乳問題ニ付キマシテハ、昨年モ確力
シタモノハ、中ミ價格ノ點其他カラ十分引
合ハヌ爲ニ、外國ノ「ミルク」「バター」「チー
ズ」ニ向ツテ相當ノ稅ヲ課サナケレバ、内地
ノ農村ヲ中心ト致シマシタ此產業ガ根柢ヨ
リ覆ヘサレル虞レガアルトシテ、實ハ只今
モ關稅委員會デ其議論ガ盛ニ行ハレテ居
リマス、先年北海道ノ或會社ヲ買收シテ外
國ノ資本ヲ以テ大キヤルト云フコトガ中
途ニシテ挫折シタコトハ承知イタシテ居リ
マス、又煉乳デハアリマセヌガ「コーンス
ターチ」ノ方ニ於キマシテ、朝鮮ノ方ニ大
キナ經營ヲヤッテ内地ノ細カイ製造業者ガ
之ガ爲ニ脅威ヲ受ケテ居ルト云フ消息モ相
當私ノ方デモ調査シテ居リマスガ、煉乳「チー
ズ」「バター」ハ當業者ハ誰デモ盛ニ要
望シテ居リマスガ、最モ大キイノハ「コン
デンスミルク」デアリマス、大藏大臣トモ昨
日以來此問題デ研究ヲ重ネテ居リマスガ、

テル」ナドモ、海外ニ輸出スルニ當リマシ
テモ出來ルナラバ之ヲ統一シタイト云フ意
味ヲ以テ、昨年多少ノ補助金ヲヤリマシテ、
香港ヲ初メトシ近頃ハ新嘉坡ノ方ニ進出シ
テ、今朝モ當業者ノ陳情ヲ聞キマシタガ、
相當海外ニ向ツテ進ムコトノ有望ナルコト
ヲ言ツテ努力シテ居リマス、併シ全體ノ農
ノ副產物トモ見ルベキ生乳竝ニ此製品ニ致
シタモノハ、中ミ價格ノ點其他カラ十分引
合ハヌ爲ニ、外國ノ「ミルク」「バター」「チー
ズ」ニ向ツテ相當ノ稅ヲ課サナケレバ、内地
ノ農村ヲ中心ト致シマシタ此產業ガ根柢ヨ
リ覆ヘサレル虞レガアルトシテ、實ハ只今
モ關稅委員會デ其議論ガ盛ニ行ハレテ居
リマス、先年北海道ノ或會社ヲ買收シテ外
國ノ資本ヲ以テ大キヤルト云フコトガ中
途ニシテ挫折シタコトハ承知イタシテ居リ
マス、又煉乳デハアリマセヌガ「コーンス
ターチ」ノ方ニ於キマシテ、朝鮮ノ方ニ大
キナ經營ヲヤッテ内地ノ細カイ製造業者ガ
之ガ爲ニ脅威ヲ受ケテ居ルト云フ消息モ相
當私ノ方デモ調査シテ居リマスガ、煉乳「チー
ズ」「バター」ハ當業者ハ誰デモ盛ニ要
望シテ居リマスガ、最モ大キイノハ「コン
デンスミルク」デアリマス、大藏大臣トモ昨
日以來此問題デ研究ヲ重ネテ居リマスガ、

相成可クハ消費者ノ關係ト、ソレカラ外國カラ入ル「コンデンスミルク」ヨリモヨリ良キ製品デアル、内國製ヲ販賣方法ノ改善ニ依テ、ドウカ今日ノ悲境ヲ回復シ得ラレヌカ、果シテ關稅ニ依ルニ非ザレバ、今日ノ煉乳製造家ノ困難ヲ救フコトガ出來ナイカ、此問題ヲ目下取急イデ、政治的問題ト相成ツタ傾キガアリマスニ付キマシテ、昨日來更ニ大藏農林兩省ニ於キマシテ一層ノ研究ヲ進メツツアルノデアリマス、又今年ノ議會ニ出スト確定ハ致シマセヌガ、民間ノ要望ニ付キマシテハ相當重ク考慮シツツアルノデアリマスカラ、此問題ニ對シテノ責任アル等辯ハ兩三日御猶豫ヲ願ヒタイ

○委員長(伯爵堀田正恒君) 如何デゴザイ
マセウ、今日ハ此程度デ散會イタシマシテ
明日ハ午前十時カラソレデハ是デ散會
イタシマス

午後三時一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵堀田 正恒君
副委員長 橋本圭三郎君
委員 侯爵松平 康昌君
子爵松平 直平君
子爵片桐 貞央君

國務大臣	農林大臣	農林省農務局長	農林書記官	拓務省殖產局長	政府委員
湯川 寛吉君	町田 忠治君	石黒 忠篤君	荷見 安君	殖田 俊吉君	田村 新吉君
本山 彦一君					佐藤 信古君
					絲原武太郎君
					本間千代吉君

昭和六年三月二十二日印刷

昭和六年三月二十二日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局